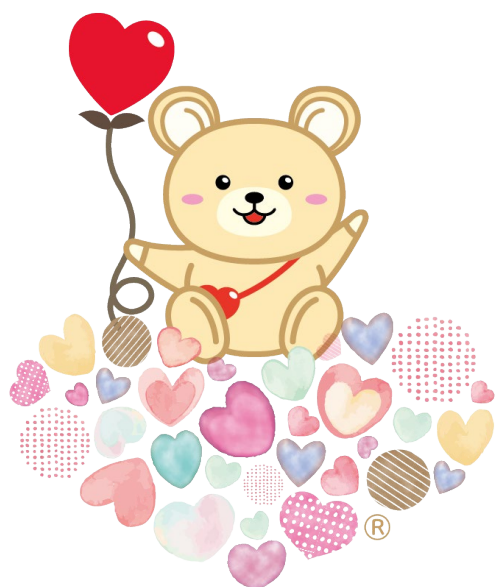




淑徳大学地域共生センター 2024 年度報告書

内容

まえがき	4
1. 地域共生センターについて	5
2. 地域共生センターが行う業務について	5
3. 中期事業計画（第4期成果指標）とセンター活動の関連性について	6
4. 各事項における実施報告（2024年度）について	7
5. 2025年度へ向けて	46
参考資料	47
各種広報物等	48

まえがき

淑徳大学は、「Together with him.」という学祖の思いを受け継ぎ、開学以来培われてきた利他共生の精神を礎に、実学教育の伝統のもと支援活動やボランティア活動を行って参りました。

社会福祉の単科大学からスタートした本学の社会参画・社会貢献のかたちは各学部学科の専門領域に合わせて、さまざまに展開されており、支援活動やボランティア活動だけではなく、地域貢献活動やソーシャルビジネスへの参加など活動の幅は無限に広がっています。

淑徳大学地域共生センターは、本学の建学の精神「利他共生の理念と実学教育」を具体的に展開する場として、2023年に誕生いたしました。

残念ながら、現在の地域社会では、淑徳大学が志向する「共生(ともいき)」とは異なり、社会的排除や分断が生じています。

すべての人がその存在を尊重される社会を創るために、私たち一人ひとりは何をすべきでしょうか？

地域共生センターは、7学部13学科で学ぶ全ての学生の皆さんとその学びを支える教職員、卒業生や地域の皆さんが、自らを起点として「共生」とは何かを考え、一人ひとりが共生社会の実現に向けた第一歩を踏み出すための応援の場となることを目指しています。

本報告書は、淑徳大学地域共生センターの2024年度前期における活動報告書です。本学関係者のみならず、広く一般に公開し、地域共生センターの取り組みを知っていただくとともに、活動を振り返り、今後の活動に活かしていくことを目的としております。

当センターは、学内はもとより、本学の活動に関わる地域のみなさまのご協力により成り立っております。今後とも変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2025年3月
淑徳大学 地域共生センター長
鈴木 敏彦

1. 地域共生センターについて

淑徳大学地域共生センター（以下、センター）は、本学の建学の精神「利他共生の理念と実学教育」を行動化し、その実践を通じて教育と社会貢献に資することを目的とし、本学の「共生（ともいき）」の伝統を基に取り組んできたボランティア活動や地域活動をいっそう推進するために、2023年4月に設立された。センターは、センター長、副センター長、センター員及び、4キャンパスの職員と全学部の教員から選出された運営委員より構成されている。

また、淑徳大学地域共生センター規程第2条には、センターの目的として、以下のとおり定められている。

（センターの目的）

第2条 センターは、淑徳大学(以下「本学」という。)の全学的な地域共生活動に関する事項を取り扱い、本学の建学の精神「利他共生の理念と実学教育」を行動化し、その実践を通じて教育と社会貢献に資することを目的とする。

2 センターは、本学学生、教職員等(聴講生、科目等履修生、また過去に在学、在籍した者を含む)が生涯にわたり地域社会に貢献するという生き方、利他共生の精神、ふくし文化の醸成に寄与することを目的とする。

（参考：淑徳大学地域共生センター規程 第2条）

2. 地域共生センターが行う業務について

センターは、淑徳大学地域共生センター規程第3条に則り、以下の業務を行っている。なお、各事項における業務については、「4. 各事項における実施報告（2023年度：前期）について」で報告する。

- (1) 地域共生活動を必要とする支援ニーズの把握に関する事項
- (2) 地域共生活動の企画及び実施(学内共通基盤の構築を含む)に関する事項
- (3) 災害支援活動の迅速な支援展開及び環境整備に関する事項
- (4) 生涯学習事業(含む社会人の学び直し)の企画と調整に関する事項
- (5) 地域共生活動の情報集約・発信と広報に関する事項
- (6) 各キャンパスで取り組む地域共生活動の支援に関する事項
- (7) その他必要な事項

（参考：淑徳大学地域共生センター規程 第3条）

3. 中期事業計画（第4期成果指標）とセンター活動の関連性について

2022年度に策定された中期事業計画において、主体組織が地域共生センターとなっている項目は以下のとおりである。策定された内容は、第4期成果指標とも紐づいており、これらと連動してセンター活動が展開されている。

カテゴリー	今期の重点施策	最終年度の到達目標
1. 教育	01.各キャンパスにおける地域（共生）活動の充実	地域共生センターのもと、各キャンパスに地域活動、ボランティア活動を推進するための部署又は窓口が設置されており、学生、教職員が地域（共生）活動を気軽にできる体制となっている。 【5年後の指標】 ・全学部学生4年次における地域活動実績割合：55% ・本務教職員における地域活動実績割合：55%
4. 社会連携・社会貢献	05.研究成果の教育と社会への還元の推進	各キャンパスにおいて、近隣自治体や地域住民等のニーズに合わせて、各学部等の専門性を活かした授業開放講座、公開講座等が開講され、地域の生涯学習の拠点の一つになっている。また、地域共生センターによる、全学共通の履修証明プログラムが展開・実施されている。 【5年後の指標】 ・授業開放又は公開講座を1学科あたり2回以上実施（13学科×2=26回） ・研究所、大学附置機関の公開講座を15回実施 ※各キャンパスの実態に合わせて目標値設定 ・ニーズ調査の反映結果の検証 ・履修証明プログラム受講者数：20名
	07.各キャンパスの地域災害支援体制の確立	各キャンパスが所在する地域で災害が発生した際に、機動的に対応（地域の方々の一時避難所としてキャンパスを開放）できるよう、マニュアルが整備されており、1年に1回は、学生・教職員・地域住民と実践的な防災訓練が実施されている。 ※近隣自治体との避難計画等との調整が必要であり、あくまでも本学は補完的な立ち位置 【5年後の指標】 ・各キャンパス 防災訓練 1回以上/毎年

（参考：中期事業計画）

4. 各事項における実施報告（2024 年度）について

(1) 地域共生活動を必要とする支援ニーズの把握に関する事項

・「淑徳大学生の 4 年次におけるボランティア活動・地域貢献活動実態調査」

第 4 期成果指標に掲げられている「全学部学生 4 年次における地域活動実績割合」の把握へ向けたアンケート調査を 12 月～1 月まで全学で実施した。現在は、回答を基に集計し、分析を進めている。なお、「本務教職員における地域活動実績割合」の実態把握の方法については、次年度以降に検討していく。

目的：本学 4 年次におけるボランティア活動・地域貢献活動の実態把握及び学生に対して、より良い体験活動等を提供するための情報把握のため。

対象：淑徳大学 4 年生

回答期間： 2024 年 12 月 5 日（木）～12 月 23 日（月）

その後、2025 年 1 月 14 日（火）～1 月 31 日（金）まで期間延長

回答方法： Google フォームによる Web アンケート調査

・各拠点における相談対応

【千葉拠点】

・拠点年間来室者数 3,297 名（学生・教職員・外部団体含）

※併室されている学修支援室の利用者含む、部屋に対する総来室者数となっている。

・相談対応 166 件

（内訳）学生：99 件、教職員：16 件、地域団体：50 件

（相談内容）

- ① 活動先を探している（学生）：46 件
- ② 活動先を探している（教員）：2 件
- ③ ボランティア募集がしたい（地域団体）：25 件
- ④ ともいき体験の相談：14 件
- ⑤ 地域の活動を知りたい・情報提供：33 件
- ⑥ コーディネーターへの依頼（教員）5 件
- ⑦ その他：58 件

※一度に複数相談されるケースもあったため、相談内容数>件数となっている。

【東京拠点】

・相談対応 228 件

（内訳）学生：74 件、教職員：16 件、地域団体：138 件

（相談内容）

- ① 活動先を探している（学生）：14 件

- ② 活動先を探している（教員）：0 件
- ③ ボランティア募集がしたい（地域団体）：79 件
- ④ ともいき体験の相談：34 件
- ⑤ 地域の活動を知りたい・情報提供：2 件
- ⑥ コーディネーターへの依頼：60 件
- ⑦ その他：47 件

※一度に複数相談されるケースもあったため、相談内容数>件数となっている。

【団体登録】

地域団体からのボランティア依頼について、リスクマネジメントやニーズのミスマッチを防ぐ観点から、2024 年度より「学外団体ボランティア情報の取扱いに関する方針」を設け、初回のみ団体登録をしてもらうこととした。千葉拠点・東京拠点共通で登録を受け付けた。

・2024 年度団体登録数：12 団体

・関係組織への視察・ヒアリング・意見交換

展開していく地域共生活動において、近隣組織のニーズ調査・他地域の事例調査・ネットワーク作りを目的とした視察・意見交換を行った。

日程	訪問先等
4/10（水）	オンライン（株式会社 IRODORI との学生の地域活動の推進に関する意見交換）
4/17（水）	52 間の縁側のいしいさん家
4/22（月）	オンライン（認定 NPO 法人サービスグラントとの学生の正課外活動の時間数管理・活動推進に関する意見交換）
5/15（水）	板橋区教育支援センター（学習支援ボランティア）
5/27（月）	龍谷大学ボランティア・NPO 活動センター（ボランティア・社会貢献活動、防災、能登半島地震復興支援等に関する意見交換）
6/7（金）	東京ボランティア・市民活動センター（関東地区大学ボランティアセンターネットワーク参加）
6/13（木）	52 間の縁側のいしいさん家（人が自然と集まる多世代交流の視点が入った取り組みの意見交換）
9/1（日）	明治学院大学 横浜キャンパス（関東地区大学ボランティアセンターネットワーク参加に伴う見学）
9/13（金）	千葉市役所危機管理課（災害ケースマネジメントに関する意見交換）
10/8（火）	東京都人権啓発センター（東京キャンパス大学祭での連携企画の意見交換）

10/19 (土)	ぼうさいこくたい 2024 in 熊本に出展
10/20 (日)	
11/10 (日)	まなぼーと成増 (板橋区内の大学と地域の連携活動交流会参加)
11/16 (土)	獨協大学 (学生こども食堂ネットワーク全国大会参加)
12/15 (日)	東京ボランティア・市民活動センター (学生ボランティア活動支援連絡会参加)
2/6 (木)	(公財) ちばの WA 地域づくり基金、企業組合 We need (千葉拠点の取り組みに関する視察受け入れ・ヒアリング対応に伴う意見交換) <u>※先方希望により千葉拠点内にて実施</u>
3/7 (金)	関東地区大学ボランティアセンターネットワーク参加 ※会場校として千葉キャンパスでの実施
3/11 (火)	千葉市役所危機管理課 (能登半島地震における支援活動や平時の防災に関する学生を交えた意見交換会)
3/24 (月)	千葉市民活動支援センター (千葉市内の市民活動団体の傾向、学生のボランティア・市民活動の参加に関する意見交換)

(2) 地域共生活動の企画及び実施(学内共通基盤の構築を含む)に関する事項

①T-BASIC (ともいき基礎知識講座)

本学の建学の精神「利他共生」の原点を学ぶともいき基礎知識講座として、福祉・淑徳・共生をキーワードに「ともいき」を生涯にわたり実践してきた方々から想いや信念を学ぶ生きた動画ライブラリを整備している。令和6年度より開講した S-BASIC 科目「地域活動と社会貢献」の事前・事後学習教材として活用している。

【動画】

・福祉とこころ

出演：阿部 志郎 先生 (元 大乘淑徳学園学術顧問)

・淑徳文化

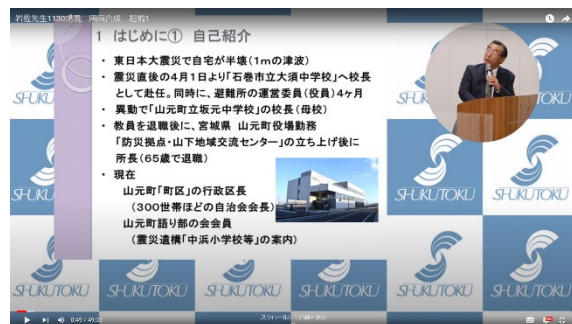
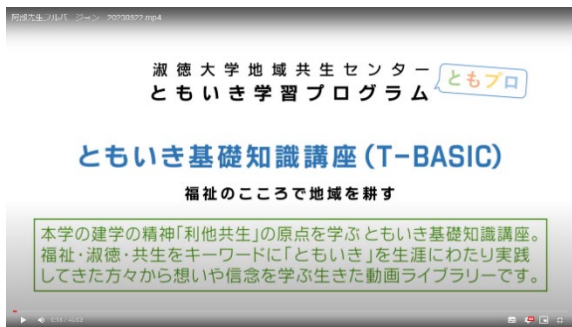
出演：川真田 喜代子 先生 (社会福祉学部 1 期生、淑徳大学客員教授)

・災害から命を守る

出演：岩佐 勝 先生 (社会福祉学部 10 期生、元宮城県石巻市大須中学校校長)

・地域とともに

出演：野老 真理子 先生 (大里総合管理株式会社代表取締役会長)



②S-BASIC（地域活動と社会貢献）

全学共通基礎教育科目「S-BASIC」の「人間力の養成」に位置付けられている、地域活動と社会貢献については、令和6年度から授業が開始された。

【地域活動と社会貢献 コアシラバス】

授業科目名 地域活動と社会貢献	開講年次・開講学期は キャンパスにより異なる／必修	単位数：1単位	担当教員名：鈴木 敏彦ほか 担当形態：講義/FW
授業の到達目標 ・ 現代社会における「地域活動と社会貢献」の意義を理解し、説明することができる。 ・ 自ら関心を有する地域課題について、その概要（課題の背景、課題への対応、課題解決・軽減に向けた今後の取組等）を説明することができる。 ・ 「地域共生活動」（ボランティア等の地域活動・社会貢献活動）の体験を通して、地域社会における課題を我がこととして認識することができる。 ・ 「地域活動と社会貢献」を実践する市民として必要な態度、行動力を身につけている。			
授業の概要 本科目は、現代社会における社会活動と地域貢献の意義を、自ら関心を有する地域活動・社会貢献活動（地域共生活動）を通じて、理解することを目的としている。また、受講者一人ひとりが、地域社会で生じている多様な事象は自らの課題でもあるという意識をもち、地域課題の解決に自主的・主体的に参加する姿勢を涵養する。			

授業計画 第1回：授業ガイド（地域活動・社会貢献の意味、「地域共生活動レポート」について、T-Basic 動画について 等） 第2回：社会におけるつながり・支えあい（ソーシャルキャピタル 等） 第3回：地域課題の諸相（SDGs に示される課題、人権に関する課題、特定非営利活動促進法にみる課題 等） 第4回：地域活動・社会貢献の担い手（NPO/NGO、CSR、ソーシャルビジネス、中間支援組織 等） 第5回：地域課題に対する取組の実際①（各キャンパスの学びの領域等を踏まえた取組） 第6回：地域課題に対する取組の実際② 第7回：地域課題に対する取組の実際③ 第8回：「地域共生活動」のふりかえり、地域共生社会の創造
テキスト なし。授業資料を配布する。
参考書・参考資料等 適宜紹介する。
学生に対する評価 ・地域共生活動の先駆者の声から（T-Basic 動画視聴、4 タイトル）についての小レポート 10% ・各回の小レポート 35%（授業 2～7 回分） ・「地域共生活動」レポート 55%（第 7 回授業までに提出）

※ 地域共生活動：地域の課題に対して、主体的に取り組む活動（ボランティア活動等）をさす。教職、看護師、栄養士、社会福祉士、保育士等の免許・資格に関する実習等は含まれない。

※「地域共生活動レポート」では、①活動に係る地域課題の内容、②活動の概要、③活動に参加することによる自らの気づき、④今後の地域共生活動への参画の抱負等を問う。レポートで取り上げる「地域共生活動」は、本授業期間中に新たな活動を行ってもよい、また既に行っている・行っていた活動を取り上げても構わない。活動の分野、参加形態、時間数等は問わない。

※ 授業形態：対面形式とする。

③ともいき体験プログラム（スタディツアー・パネルシアターキャラバン等）

●東日本大震災復興支援プログラム 第 13 回パネルシアターキャラバン

復興支援プログラム「パネルシアターキャラバン」は、淑徳発祥の「パネルシアター」を学生たち自ら上演し、子ども達を始め被災地の方々と交流を深めることを目的に実施している。パネルシアターを通して多くの笑顔が花開くように広がることを願いながら続けている。また、被災の現実と復興の現状に触れ、本学の建学の精神を体験的に学ぶボランティア活動である。令和 6 年度で 13 回目の実施となった。

実施期間：2/12（水）～14 日（金）：2 泊 3 日

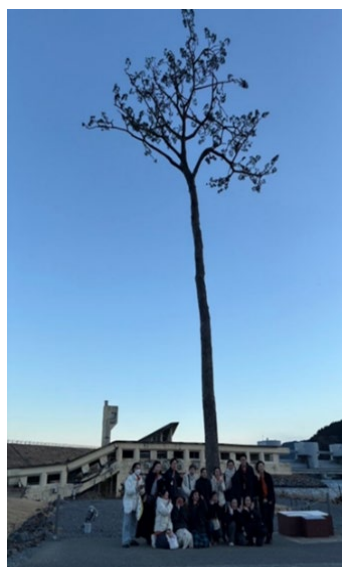
実施地域：岩手県釜石市、大船渡市、一関市

参加学生：15 名（社会福祉学科 2 名、教育福祉学科 2 名、こども教育学科 11 名）
引率教職員：教職員 4 名（教育学部 松家まき子先生、藤田佳子先生、矢幅清司先生
他職員 1 名）

活動報告：<https://www.shukutoku.ac.jp/news/nid00004890.html>

※能登半島地震への復興支援として実施した石川県能登半島での活動に続いて、
今年度 3 回目の活動

※活動については、新聞に掲載された（東海新報、岩手日日新聞）



●能登半島地震復興支援プログラム【パネルシアターでの能登半島地震における支援活動】

東日本大震災発災直後から継続して続けている活動である、淑徳発祥の「パネルシアター」は、学生・教職員が一体となって上演し、子どもたちや高齢者の方々に笑顔がはなひらくように願いながら続けている活動である。今回、能登半島地震における支援活動として、パネルシアターの公演をはじめ、あそび場の提供を通した「心のケア」の活動をすすめる、石川県能登半島方面での継続的な支援へ繋げることを目的に、(Ⅰ)春の大型連休期間（4月30日～5月2日）及び(Ⅱ)夏期休暇期間（8月26日～28日）の2回活動を実施した。

(Ⅰ)第1回（4月30日（火）～5月2日（木）：2泊3日）

実施地域： 石川県金沢市、かほく市、河北郡内灘町、七尾市他

参加者： 学生 6 名（こども教育学科 5 名、経営学科 1 名）

引率教職員：教職員 5 名（副学長 鈴木 敏彦先生、教育学部 松家 まき子先生、総合福祉学部 柏女 霊峰先生、他職員 2 名）

活動報告: <https://www.shukutoku.ac.jp/news/nid00003829.html>

【パネルシアターでの能登半島地震における支援活動_記録動画】

https://drive.google.com/file/d/1k91UmOZpniz6cjPBICH0Ouop9g29hgI/view?usp=drive_link

※本プログラムは、社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団より活動助成を受けて実施した。

(Ⅱ)第2回(8/26(月)～28日(水):2泊3日)

実施地域:石川県珠洲市、輪島市、羽咋市他

参加学生:10名(社会福祉学科1名、教育福祉学科1名、こども教育学科8名)

引率教職員:教職員2名(教育学部 松家まき子先生、他職員1名)

活動報告: <https://www.shukutoku.ac.jp/news/nid00004315.html>

※本プログラムは、Yahoo!基金「2024年度能登半島地震復旧・復興支援助成プログラム」により活動助成を受けて実施した。

●能登半島地震復興支援【Together with SUZU 珠洲市復興支援プロジェクト(春・夏)】

能登半島地震で被災された方々に思いを馳せ、学生・教職員による復興支援活動を実施した。

卒業生のつながりにより、甚大な被害を受けた能登半島最北端の石川県珠洲市において、(Ⅰ)春の大型連休期間(4月28日～5月4日)、(Ⅱ)夏期休暇期間(9月3日～6日)、(Ⅲ)春期休暇期間(2月18日～21日)の3回にわたり、珠洲市社会福祉協議会(珠洲市災害ボランティアセンター／珠洲ささえ愛センター)のご協力のもと、現地での支援活動を実施した。

(Ⅰ)第1回:被災家庭での家財の片付けや災害ゴミの搬出等(3泊4日を2クール)

参加学生:9名(社会福祉学科1名、教育福祉学科1名、実践心理学科2名、歴史学科3名、表現学科1名、人間科学科1名)

参加教職員:8名(学長 山口 光治先生、副学長 鈴木 敏彦先生、総合福祉学部 菅野道生先生、佐藤 惟先生、経営学部 永井 恵一先生、他職員3名)

活動報告: <https://www.shukutoku.ac.jp/news/nid00003830.html>

活動の一部は、ニュースでも取り上げられた。(北陸朝日放送、ANNnews)

(Ⅱ)第2回:仮設住宅の集会所での孤立予防やコミュニティの再形成を目的とした交流・支え合いの場づくり(サロン活動)

参加学生:6名(社会福祉学科1名、教育福祉学科1名、実践心理学科1名、コミュニティ政策学科2名、栄養学科1名)

参加教職員：3名（経営学部 永井 恵一先生、他職員2名）

活動報告：<https://www.shukutoku.ac.jp/news/nid00004341.html>

(Ⅲ)第3回：仮設住宅の集会所での孤立予防やコミュニティの再形成を目的とした交流・
支え合いの場づくり（サロン活動）

参加学生：5名（社会福祉学科2名、実践心理学科1名、歴史学科1名、表現学科1名）

参加教職員：4名（看護栄養学部 渡邊 多恵子先生、経営学部 永井 恵一先生、
他職員2名）

活動報告：<https://www.shukutoku.ac.jp/news/nid00004341.html>

※活動の一部は、新聞でも取り上げられた（北國新聞）

※本プログラムは以下の活動助成を受けて実施した。

(Ⅰ)中央共同募金会「ボラサポ・令和6年能登半島地震」第4回短期助成事業

(Ⅱ)Yahoo!基金「2024年度能登半島地震復旧・復興支援助成プログラム」

(Ⅲ)内閣府 令和6年度「特定非営利活動法人等被災者支援活動費補助金」（被災者
支援団体への交通費補助事業）



④学生提案型地域共生活動プログラム「防災とマイノリティ～外国人とユニバーサル～」

本企画は学生たちが、自分自身の「気になる」「なんとかしたい」と感じる地域課題や社会問題に対して話し合い、その改善や解決につながるような場や活動を企画立案から実施まで、学生が主体的に取り組む、地域共生センター主催のプログラムである。

今年度は「防災とマイノリティ ～外国人とユニバーサル～」をテーマに、災害時に取り残されがちな「外国人の方(外国人チーム)」と「障がいをお持ちの方(ユニバーサルチーム)」といったマイノリティの方々に焦点を当てて「自助」「共助」「公助」、福祉の視点から災害時の「共生」、災害への知見を深め対策を考えることを目的に実施した。

活動日時

事前学習：2月17日(月) 11:30～14:00 マスジド大塚見学(外国人チーム)

2月18日(火) 10:30～13:00 防災体験学習施設 そなエリア東京見学(ユニバーサルチーム)

本学習：3月3日(月) 10:00～11:00 東京キャンパスで防災に係るカードゲームのワークショップ

3月3日(月) 13:00～15:30 池袋防災館見学

事後学習：3月4日(火) 13:00～17:00 東京キャンパスにて発表準備、発表、ディスカッション

参加者：総合福祉学部：3名、経営学部：1名、人文学部4名(合計：8名)

活動報告：<https://www.shukutoku.ac.jp/news/nid00004958.html>



⑤能登豪雨における災害支援金の募金活動

今年1月に発生した能登半島地震で被災された方々の生活の復旧・復興には長期の取り組みが必要とされる中、9月21日には能登半島を豪雨が襲い、土砂災害や仮設住宅の浸水被害など想定外の被害を受けた能登(珠州市)の方々への継続的な支援活動として募金活動を実施した。

支援金は、11月12日(火)に珠州市社会福祉協議会へ緊急支援金として寄付させていただいた。

* 支援金は、災害ボランティアセンターでのニーズ調査や資機材購入等の運営費、被災者の孤立予防のための相談支援や交流・支えあいの場づくり、心のケア活動等に活用

期 間：2024 年 10 月 15 日から 10 月 31 日

支援金の寄付先：珠洲市社会福祉協議会（緊急支援金）

支援金額：総額 97,434 円

活動報告：<https://www.shukutoku.ac.jp/news/nid00004610.html>

⑥淑徳大学認定プログラム（淑徳大学ともいきリーダー）

令和 5 年度入学生より、全学部全学科在学生対象に、科目履修と体験活動を行った者に修了の認定証を授与し、大学が学生のボランティア活動の知識・経験等を認定する「淑徳大学ともいきリーダー」の称号を付与する認定制度を構築し、令和 6 年度よりスタートした。S-BASIC 科目「地域活動と社会貢献」単位修得及び T-BASIC ともいき基礎知識講座受講、ともいき体験活動（15 時間以上）の実績により認定証（デジタルバッジ）を付与する。これにより、学生自身の記録として、また就職活動時に学生時代に力をいれたことのひとつとしてアピールにも利用できる。

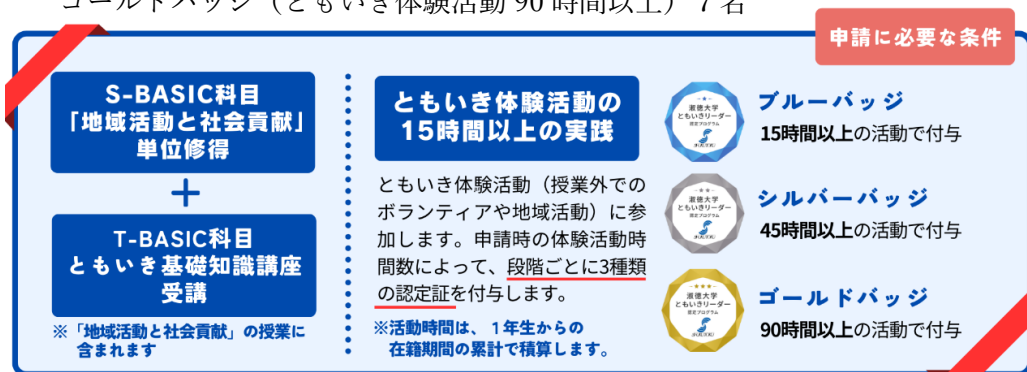
認定証は、ともいき体験活動の時間数によって、段階的に 3 種類の認定証（ブルー、シルバー、ゴールド）を付与する。

令和 6 年度の申請期間は令和 7 年 2 月 1 日（土）～28 日（金）までとし、令和 6 年度「淑徳大学ともいきリーダー」の第 1 期生・12 名に認定証を付与した。

ブルーバッジ（ともいき体験活動 15 時間以上） 3 名

シルバーバッジ（ともいき体験活動 30 時間以上） 2 名

ゴールドバッジ（ともいき体験活動 90 時間以上） 7 名



(3) 災害支援活動の迅速な支援展開及び環境整備に関する事項

①防災減災に関わる学内の環境整備（防災備蓄品の拡充）

昨年度実施したファーストミッションボックスの取り組みを踏まえ、一時避難所としてキャンパスを開放するための防災備蓄品を含めたインフラ環境を整えるため、本学卒業生が勤める株式会社パン・アキモトの非常食パンの缶詰「救缶鳥*」を千葉キャンパスにて試験的に導入した。

※賞味期限前に一定の期間が過ぎると回収され、食糧難問題を抱える国や地域に届けられ、フードロスがなくす形で社会貢献ができる。

(4) 生涯学習事業(含む社会人の学び直し)の企画と調整に関する事項

①授業開放又は公開講座

(Ⅰ)第1回公開講座(7月26日)

総合福祉研究科と地域共生センターの共催で、公開講座「地域共生社会づくり ～移動支援の視点から考える～」を実施した。元厚生労働省事務次官 蒲原基道先生をお招きし、地域包括ケア、地域共生社会づくりの「地域づくり」の重要性と地域づくりについて「移動支援」を例に、自分らしく暮らすための「移動」の重要性や、買い物などの暮らしの継続を支える移動支援の仕組みについてご講演いただいた。約40名の学生・院生・教職員や地域の方々が参加した。

開催日：2024年7月26日(金)

時 間：13:00～14:30

場 所：淑徳大学 千葉キャンパス 淑水記念館2階 多目的室

講演タイトル：地域共生社会づくり ～移動支援の視点から考える～

講 師：淑徳大学 客員教授 元厚生労働省事務次官 蒲原 基道 先生

実施主体(共催)：淑徳大学 総合福祉研究科・淑徳大学 地域共生センター

活動報告：<https://www.shukutoku.ac.jp/news/nid00003997.html>



(Ⅱ)第2回公開講座(令和7年2月14日)

総合福祉学部社会福祉学科と地域共生センターの共催で、「新田恵利先生と大学生が語る！介護について考えよう！」をテーマに、本学客員教授・新田恵利先生をお招きし、公開講座を実施した。企画から運営まで学生が参画し、第1部は、「実体験から語る介護の魅力、素晴らしさ」をテーマに新田先生に講演いただき、第2部は、「どうして介護職は人気がないの？」をテーマに、コーディネーターを総合福祉学部結城康博教授として、総合福祉学部社会福祉学科学生3名のパネルディスカッションを行なった。

新田先生ご自身の実体験に基づき、介護の魅力を紹介するとともに、1人で抱え込まずに周囲に打ち明ける「言いふらし介護」をおすすめと説き、パネルディスカッションでは、参加者からの質問に体験を織り交ぜつつ丁寧に回答する学生の姿が大変好評だった。近隣町内会・社会福祉協議会・介護施設職員・地域の方々・在学生・在学生保護者の方々55名に参加いただいた。

開催日：2025年2月14（金）

時 間：13：00～15：30

場 所：淑徳大学 千葉キャンパス 淑水記念館2階 多目的室

講演タイトル：新田恵利先生と大学生が語る！介護について考えよう！

概 要：【第1部】特別講演

テーマ：実体験から語る介護の魅力、素晴らしさ

講師：淑徳大学 客員教授 新田 恵利先生

【第2部】パネルディスカッション

テーマ：どうして介護職は人気がないの？

コーディネーター：淑徳大学 総合福祉学部 教授 結城康博

パネリスト：淑徳大学総合福祉学部社会福祉学科学生3名

実施主体（共催）：淑徳大学 総合福祉研究科・淑徳大学 地域共生センター

活動報告：<https://www.shukutoku.ac.jp/news/nid00004847.html>

※本講座の様子を各メディアにて取り上げられた（フジテレビ FNS 系列 18 局ネット「ノンストップ!」、産経新聞社「論壇」、千葉日報社）



②ニーズ調査

近隣組織や学生のニーズ調査の結果を踏まえ、以下の取り組みを実施した。

【千葉キャンパス】

- 「淑徳大学地域共生センター×52 間の縁側のいしいさん家 夏休み企画 夏のおたのしみ会」

本学卒業生が代表を務める「52 間の縁側のいしいさん家*」からの「大学生が多世代交流の場に関わる価値があるのではないか」という提案と、学生からの「コロナ禍

で夏のイベントが思うようにできなかった」「多世代交流の場を展開する福祉の現場に参加したい」という声を拾い、「人が自然と集まる多世代交流の視点が入った取り組み」に学生が企画から参加するというテーマで 8/5（月）に「夏のおたのしみ会」を開催した。本学学生は 30 名程度参加し、7 月の学内説明会を皮切りにチームごとに分かれ、準備段階から主体的に活動を展開した。

当日は「52 間の縁側」の利用者や、近隣の小学生・親子 100 名を超える方々が集い、地域貢献の一助となる取り組みとなった。

※52 間の縁側は 2023 年度のグッドデザイン大賞（内閣総理大臣賞）を受賞

※代表：石井 英寿氏 1992 年度（第 29 期生）社会福祉学科卒業



説明会の様子



コーヒーブース班の練習



子どものあそびスペースの準備



バルーンアート班の練習



事前練習の様子



流しそうめん班の準備

【淑徳大学×52 間の縁側のいし屋さん 夏休み企画 夏のおたのしみ会_記録動画】

https://drive.google.com/file/d/1CuGEcKYM01swgNJ-zAs5y6PEW2pse9_b/view?usp=drive_link

● 能登半島地震復興支援チャリティ上映会「ひとにぎりの塩」

1 月に発災した能登半島地震において、「現地へ行つての支援活動は難しいが、千葉からできる支援活動に参加したい」という学生からの声があり、8 月 22 日に映画「ひとにぎりの塩」の上映会を実施した。同作品の上映会については発災後、映画を製作した石井かほり氏の呼びかけにより全国各地にて有志が実施している取り組みであり、本学での上映会実施にあたっては監督へ問い合わせの上、実施した。



当日は 16 名（学生 8 名、外部参加 1 名、教職員 7 名）が参加し、6,478 円の募金が集まった。

（募金は（公財）ほくりくみらい基金 能登半島地震 災害支援金へ寄付）

● 「こどもたちが主役になれる！イルミネーション点灯式&ウィンターマーケットプロジェクト」

鎌ケ谷市内で子育て支援活動に取り組む一般社団法人アイルゴーが2019年より新鎌ケ谷駅周辺にて実施している「新鎌イルミネーション点灯式・ウィンターマーケット」のイベントにおいて、学生11名（社会福祉学科8名、教育福祉学科3名）による、地域のこどもたちが楽しめるあそびのブースを出展した。



この企画は同団体が地域共生センター（千葉拠点）へ見学に訪れた際に話した「鎌ケ谷には大学もないことから、こどもたちが少し年上の世代と交流する・遊ぶ機会が少ないため、もっとそういった機会をこどもたちに与えたい」という声に対し、「何か活動できないか」と学生が拾い上げたことから始まり、10月16日のプロジェクト説明会実施を皮切りに「こどもたちがお金を使わずとも遊び、大学生と交流できるブース」をテーマに、学生主体で準備を進めていった。

当日はおりがみ教室や輪投げ、トランプなどのあそびを通して約120名の親子がブースに来場し、他の参加者からも「大学生がとてもよく盛り上げてくれた。自分たちのブースだけでなく、他のブースにも全て挨拶に自分たちから来てくれたことが嬉しかった」「大学生のお兄さんたちのブースが楽しい」等の感想が寄せられ、地域貢献の一助となる取り組みとなった。



参加学生の感想（抜粋）：

- ・ ボランティアなどは初めてだったが、たくさんの人の笑顔があり、イルミネーション点灯式の盛り上がりも良かった。
- ・ 準備時間に思いのほか高齢者が立ち寄ることが多かったので、親子以外にも年配の方・中高大学生向けのブースもあるとイベントに広がりが出て良いのではと感じた。
- ・ 他のブースにも人が来るように、(主催に相談して) 施設入口で呼び込みをした。そこで「イベントがあることを初めて知った」という人もいて、効果が多少あったと思うが、商業施設でもあるのでどこまで声をかけて良いのか悩んだ。
- ・ 参加したきっかけは、何かボランティアをしてみたかったのと、遊びを通してたくさんの人と関わることが楽しそうだったからです。活動を通して、子どもから大人まで幅広い年代の方に楽しんでもらえる内容をもっと考えてみたいと思いました。
- ・ 準備期間では、折り紙で何を折ってもらうかを決めて準備していましたが、当日に違うものが折りたいとリクエストがあって、もっといろいろな種類を準備しておく必要があったと感じました。
- ・ たくさんの人と関わることができて楽しかったです。ありがとうございました。笑顔が見られ、嬉しかったのでまた参加したいと思いました。

● 龍澤祭への学生・地域団体との連携出展

10月26日（土）～27日（日）に実施された龍澤祭において、学内外における地域共生センターのより一層の周知と、地域団体との連携を目的に拠点周辺を使い「地域共生センターブース」として、4団体の協力のもと出展を行った。

参加日	出展内容	主な出展者
10/26（土）	① 能登半島地震チャリティコーヒー販売	有志学生 (コーヒーオープン Day 参加者)
10/26(土)、27(日)	② バルーンアート	有志学生
10/27（日）	③ 途上国の教育支援につながる古着の回収・活動紹介	NPO 法人 JFSA
10/27（日）	④ ソフトパラフェンシング体験ブース会	一般社団法人日本ソフトパラフェンシング協会

①②については学生の取り組みであり、「日ごろの活動を龍澤祭に来る地域の方々にも知ってもらいたいが、自分たちだけではブース出展が難しい」という相談を受け、地域共生センターが後方支援に回る形で学生の活動紹介の場を提供したものである。

特に①においては、日頃から千葉拠点の「オープン Day」の運営を担っている学生学生たちが出展し、販売したコーヒーの売上金額は全額、能登半島地震における義援金として学生が寄付を行った（寄付先：日本赤十字社「令和6年能登半島地震災害義援金」）。



- 「入ると自然と防災に興味がわく教室を小学校に作ろう！～鎌ケ谷市立南部小学校の教室を利用した防災展示教室～」※前年度実施分について

2023 年度、鎌ケ谷市安全対策課・鎌ケ谷市 立南部小学校との協働で実施した同プロジェクトについて、千葉県の実施する「ちばコラボ大賞（千葉県知事賞）」へ2024 年度応募した。惜しくも表彰は逃したが、1 次審査通過事例として同制度の紹介リーフレットや、県内の協働事例を紹介する WEB サイト「ちばコラボナビ」へ掲載された。

また、ちばコラボ大賞への応募にあたる諸過程においてもプロジェクト参加学生が関わり、南部小学校への視察対応やプレゼンテーション審査などに参加した。

第14回(令和6年度)ちばコラボ大賞 1次審査通過事例

※活動事例はあくまでも表彰とはなりませんでしたが、とても素晴らしい活動に取り組まれている事例をご紹介します。

**まちなか先生と創る
養老溪谷プロジェクト**
～大学生が考える地域観光と人材～

●活動の概要
市田市養老地区の観光人口増出を目的としたプロジェクト型授業。令和5年度は、地域の若手人材に「まちなか先生」になってもらい、大学生とともに地域の魅力を再発見するハイキングイベントを開催しました。令和6年度以降も課題解決のための取組を継続しています。

●実施団体
まちなか先生と創る 養老溪谷プロジェクト(城西国際大学観光学部、市田市地方創生推進課、民間交流課、まちなか先生(御宅、OIKAZE、ばんちや、小島政道株式会社、株式会社千葉銀行、ちばぎん高店株式会社))

SDGs子どもクッキング
～もったいないをなくして美味しく食べる～

●活動の概要
松戸市で、子どもたちにSDGsを理解してもらうために、地域の商店会や八百屋で売り物にならなくなった食材を提供してもらい、大学生も協力して料理教室を開催しています。廃棄は最低限にするよう心がけ、子どもたちの自由な発想を尊重しています。

●実施団体
松戸市新松戸地区社会福祉協議会、流通経済大学ダイバーシティ共創センター、松戸市新松戸商店会連合会

**入ると自然と防災に興味がわく
教室を小学校に作る!**
～鎌ヶ谷市立南部小学校における
防災展示教室製作プロジェクト～

●活動の概要
小学校の空き教室も、鎌ヶ谷市の防災意識向上を兼ねた「児童が自ら興味を持ち、知識が身に着く防災展示教室」とする企画を、大学生が主体となって実施しました。防災展示教室は常設の施設として、今後も児童への防災教育に活用していきます。

●実施団体
鎌ヶ谷市市民生活型安全対策課、湘南大学地域共生センター、鎌ヶ谷市立南部小学校

あさひ街ぶら芸術祭
～芸術が育む、ずっと大好きなまち～

●活動の概要
旭駅前の商店街の賑わいを創出するために、人々の交流、健康づくりに応じたイベントとして、旭商店の空き店舗、芸術家等を会場に芸術作品を展示し、ウォークラリー形式の芸術祭を開催しました。来年度以降も同様の取組を継続し、アートを利用したまちづくりを進めています。

●実施団体
あさひの芸術祭実行委員会、旭七市民まつり実行委員会、旭市(ICCプロジェクト)歩きたくなまちチーム)

**第14回(令和6年度)
ちばコラボ大賞**

表彰事例の紹介

県内には、福祉や環境、子育て、まちづくりなどの様々な分野で、市民活動団体や企業、学校、地域団体、行政機関等が連携して、それぞれの特性を活かしながら地域の課題解決に取り組むことで、成果をあげている事例がたくさんあります。

県では、そのような連携事例の中から、他のモデルとなるような優れた事例を「ちばコラボ大賞(千葉県知事賞)」として表彰しています。

第14回目となる令和6年度は、県内各地から22件の応募があり、審査の結果、3件を表彰事例に決定したのでご紹介いたします。



千葉県

- 千葉市危機管理課との能登半島地震における復興支援活動・平時の防災に関する意見交換会

2025年3月11日(火)に千葉市役所本庁舎において、防災に関する意見交換会を実施し、学生6名(社会福祉学科2名、コミュニティ政策学科1名、歴史学科1名、経営学科2名)、職員2名が参加した。実施に当たっては千葉市の能登半島地震における職員派遣活動や、地域共生センターの各プログラム(「珠洲市復興支援活動プロジェクト」「鎌ヶ谷市立南部小学校の教室を利用した防災展示教室」「学生提案型地域共生活動プログラム」「パネルシアターキャラバン」)などの双方の防災・災害復興支援に関する活動報告ののち、全体の意見交換会・千葉市危機管理センター内の見学を行った。

本意見交換会は広く「千葉市(地区)における防災」などの意見交換にとどまり、また、春休み期間の実施のため参加が叶わなかった学生も居たことから、次年度以降はテーマを絞りながら引き続き意見交換の場などを双方に検討していく方向である。



③履修証明プログラム

中期事業計画（第4期成果指標）「4. 社会連携・社会貢献」の重点施策「05.研究成果の教育と社会への還元への推進」に則り、地域共生センターによる全学共通の履修証明プログラムが令和6年度からスタートした。淑徳発祥のパネルシアターを題材として、教育学部の松家まきこ先生等のご協力のもと、受講生13名をお迎えし、「パネルシアター実践講座」全11回の講座を実施した。オリジナルの制作、上演会での講演、成果発表会など、履修証明プログラムとして設定された実習・演習等合計62時間を修了し、13名全員に修了証が交付された。

なお、パネルシアターを題材とした履修証明プログラムは全国初の取り組みである。

【パネルシアター実践講座】

●概要

パネルシアターの基礎的な知識および技術を習得するとともに、個人の専門分野を活かした探求活動を行うことを目的としたプログラムである。パネルシアターに関する基礎的な知識（特性・歴史等）およびと技能（制作方法、演技方等）を習得し、学生に指導できる力を身につけ、また、パネルシアターを用いた授業展開（モデルカリキュラム）を立案・実施できるようにすることを目指している。更に、教育・保育・福祉現場での経験や、自らの専門分野を活かしたオリジナル作品を構想、制作、実演する力を身につけることを期待し、プログラム展開をしていく。

●担当教員

- ・教育学部 松家 まきこ先生
- ・教育学部客員教授 藤田 佳子先生
- ・非常勤講師 酒井 基宏先生

●受講場所

淑徳大学東京キャンパス

※但し、一部の授業では他の場所で実施

●受講期間

2024年4月～12月

●費用

受講料：65,000 円（教材費、その他費用を除く）

●応募資格

高等学校を卒業された方。その他本学学則第 22 条に定める本学への入学資格を有する方。（保育者養成校の教員の方、パネルシアター作家志望の方、大歓迎です）

●プログラム構成・日程

No.	日付	時間	時間数	テーマ
1	4/20（土）	10:00 ～ 17:00	6	【開講式・パネルシアター概論】パネルシアターを知り、みる楽しさを味わう。
2	4 月～12 月		2	【学外研修会】別途指定する学外の推奨講座・公演一覧から 1 回以上観劇し、レポートを作成する。
3	6/18（土）	10:00 ～ 17:00	6	【パネルシアター演習①】既存の作品をグループで演じ、演じる楽しさを味わう。 ※1 泊 2 日の合宿を実施
4	6/2（日）	10:00 ～ 17:00	6	【パネルシアター演習②】既存の作品をグループで演じ、演じる楽しさを味わう。 ※1 泊 2 日の合宿を実施
5	7/13（土）	10:00 ～ 15:00	4	【パネルシアター実践①】教育・保育・福祉現場で発表を行う。上演準備、上演、リフレクション、録画記録を見てレポートを作成する。※上演会を実施
6	7/20（土）	10:00 ～ 17:00	6	【作品制作の基礎技術①】作品制作の基礎技術を学び、個人作品をつくる。
7	9/28（土）	10:00 ～ 17:00	6	【作品制作の基礎技術②】作品制作の基礎技術を学び、個人作品をつくる。
8	10/5（土）	9:00 ～ 18:00	8	【作品制作①】個人作品の仕上げ、演じ方演習、上演プログラムづくりを行う。
9	11/2（土）	9:00 ～ 18:00	8	【作品制作②】個人作品の仕上げ、演じ方演習、上演プログラムづくりを行う。

10	11/3 (日)	10:00 ～ 15:00	4	【パネルシアター実践②】教育・保育・福祉現場で発表を行う。上演準備、上演、リフレクション、録画記録を見てレポートを作成する。 ※上演会を実施予定
11	12/21 (土)	10:00 ～ 17:00	6	【成果発表会・修了式】個人作品の成果発表を行う。
合計			62	

●上演会等

①パネルシアターおたのしみ上演会

日時 7月13日(土) 10:30～11:30

場所 東京キャンパス5号館101教室

<https://www.shukutoku.ac.jp/news/nid00004124.html>

②パネルシアターおたのしみ上演会【オリジナル作品上演】

日時 7月13日(土) 10:30～12:30

場所 東京キャンパス5号館101教室

<https://www.shukutoku.ac.jp/event/nid00004465.html>

③成果発表会

日時 12月21日(土) 14:00～15:30

場所 東京キャンパス5号館103教室

●オリジナル作品集を発行

「淑徳大学履修証明プログラム『パネルシアター実践講座』」第一期生作品集を発行

履修者13名全員のパネルシアター作品及び履修証明プログラム一期生一同の作品を収録

A4判、カラー、73ページ

色見本、シナリオシート、楽譜等を収録





(5) 地域共生活動の情報集約・発信と広報に関する事項

①ぼうさいこくたい（防災推進国民大会）への出展

本センターでは、今後起こりうる災害に備えて、防災や災害支援の在り方について、事例や実践、ワークショップを交えながら考える取り組みを行っており、防災に興味・関心を持つ個人・団体等へ向けて、本学の事例を紹介するとともに、学生たちが得られた知見を広く共有することで、今後、産官学民との連携や防災に関する取組に繋げることを目的として、「ぼうさいこくたい 2024 in 熊本」に出展した。

「ぼうさいこくたい 2024 in 熊本」（主催：内閣府 防災推進国民大会 2024 実行委員会）
日 時:10月19日（土）～20日（日）

場 所: 熊本県熊本市

参加者名: 学生2名（総合福祉学部1名、経営学部1名）、教職員2名

出展内容

- パネル展示
- ①鎌ヶ谷市立南部小学校での防災展示教室
 - ②学生提案型災害学習プログラム
 - ③スタディツアー（東日本大震災）
 - ④パネルシアターキャラバン（東日本大震災）
 - ⑤パネルシアターキャラバン（能登半島地震）
 - ⑥Together with SUZU（能登半島地震）



成果報告及び動画報告

- ①広島スタディツアー
- ②はじめの一步チラシ集
- ③まへのふれあいこども食堂
- ④52間のえんがわ⑤センター主催企画チラシ
- ⑥鎌ヶ谷市南部小学校PJT

チラシ配布 地域共生センター三つ折りリーフレット
千葉拠点案内リーフレット

②各学部学科・キャンパスにおける正課外の体験活動の取り組みの集約

地域共生センター運営委員へ協力を仰ぎ、各学部学科・キャンパスにおける正課外の体験活動の取り組みについて、一覧表を作成した。一覧表については、今後、淑徳大学地域共生センターホームページ等での公開を見込んでいる。また、淑徳大学認定プログラムとも関連する「ともいき体験（正課外の体験活動）」については、活動時間数によって、段階分けを行うため、作成した一覧表も参考にしながら運用する。

【各学部学科・キャンパスにおける正課外の体験活動等の取り組み一覧件数内訳】

No.	キャンパス・学部	件数	備考
1	総合福祉学部	12	
2	コミュニティ政策学部	7	
3	看護栄養学部	2	
4	教育学部	17	
5	地域創生学部	3	
6	経営学部	12	
7	人文学部	15	
8	千葉キャンパス	3	
9	千葉第二キャンパス	46	
10	東京キャンパス	10	
合計		127	

③ニュース（淑徳大学ホームページ：地域共生センター）

地域共生センターの取り組みについては、淑徳大学ホームページのニュースにて広く発信している。しかしながら、特に学内教職員について、当センターの記事に関わらず、所管外の記事を閲覧しているかについて疑問が残る。普段関わりが薄い内容でも関心を引くようなタイトル付けや写真・動画を活用した見やすい記事構成の工夫等が必要である。

No.	日付	タイトル
1	2024.04.01	「2024 板橋 City マラソン」に運営ボランティアとして参加しました https://www.shukutoku.ac.jp/news/nid00003721.html

2	2024.04.15	能登半島地震復興支援プログラム「珠洲市復興支援プロジェクト」参加者募集 https://www.shukutoku.ac.jp/news/nid00003776.html
3	2024.05.01	淑徳大学履修証明プログラム「パネルシアター実践講座」がスタートしました！ https://www.shukutoku.ac.jp/news/nid00003928.html
4	2024.05.08	能登半島地震「珠洲市復興支援プロジェクト」を実施しました https://www.shukutoku.ac.jp/news/nid00003830.html
5	2024.05.08	パネルシアターでの能登半島地震における支援活動を実施しました https://www.shukutoku.ac.jp/news/nid00003829.html
6	2024.05.09	「入ると自然と防災に興味がわく教室を小学校に作ろう！」最終回を開催しました https://www.shukutoku.ac.jp/news/nid00003832.html
7	2024.05.13	けやきの公園「こいのぼり大会」に運営ボランティアとして参加しました https://www.shukutoku.ac.jp/news/nid00004061.html
8	2024.05.16	地域共生センター主催「リフかる（リフレーミングかるた）体験会」を実施しました https://www.shukutoku.ac.jp/news/nid00003861.html
9	2024.05.17	2024 年度ともいき体験プログラム「地域の居場所『まえのふれあいこども食堂』プロジェクト」参加者募集のご案内 https://www.shukutoku.ac.jp/news/nid00003860.html
10	2024.06.10	能登半島地震復興支援活動報告会を開催します https://www.shukutoku.ac.jp/news/nid00003946.html
11	2024.06.13	「場づくりのツールとしても役に立つ！コーヒーハンドドリップ体験会」開催のご案内 https://www.shukutoku.ac.jp/news/nid00003956.html
12	2024.06.20	【総合福祉研究科 ・ 地域共生センター共催】地域共生社会づくり ～移動支援の視点から考える～ https://www.shukutoku.ac.jp/news/nid00003997.html
13	2024.06.20	2024 年度 能登半島地震復興支援 パネルシアターキャラバン参加者募集のご案内 https://www.shukutoku.ac.jp/news/nid00003993.html
14	2024.06.27	2024 年度能登半島地震復興支援 珠洲市復興支援プロジェクト（2024・夏）参加者募集のご案内

		https://www.shukutoku.ac.jp/news/nid00004028.html
15	2024.07.02	「能登半島地震復興支援活動報告会」を開催しました https://www.shukutoku.ac.jp/news/nid00004036.html
16	2024.07.09	「場づくりのツールとしても役に立つ！コーヒーハンドドリップ体験会」を開催しました https://www.shukutoku.ac.jp/news/nid00004076.html
17	2024.07.12	けやきの公園「七夕まつり」に運営ボランティアとして参加しました https://www.shukutoku.ac.jp/news/nid00004153.html
18	2024.07.19	淑徳大学履修証明プログラム「パネルシアター実践講座」上演会を開催しました！ https://www.shukutoku.ac.jp/news/nid00004124.html
19	2024.08.01	淑徳大学 公開講座【総合福祉研究科・地域共生センター共催】地域共生社会づくり ～移動支援の視点から考える～を実施しました https://www.shukutoku.ac.jp/news/nid00004186.html
20	2024.08.02	【学生企画】52 間の縁側×地域共生センター 夏休み企画の準備をしています https://www.shukutoku.ac.jp/news/nid00004189.html
21	2024.08.06	Yahoo!基金「2024 年度 能登半島地震 復旧・復興支援助成プログラム」の助成が決定しました https://www.shukutoku.ac.jp/news/nid00004144.html
22	2024.08.08	8/22 開催：「ひとにぎりの塩」チャリティー上映会 https://www.shukutoku.ac.jp/news/nid00004225.html
23	2024.09.13	パネルシアターでの能登半島地震における支援活動を実施しました https://www.shukutoku.ac.jp/news/nid00004315.html
24	2024.09.20	能登半島地震「珠洲市復興支援プロジェクト（2024・夏）」を実施しました https://www.shukutoku.ac.jp/news/nid00004341.html
25	2024.10.15	能登豪雨に対する災害支援金の募金箱を設置します https://www.shukutoku.ac.jp/news/nid00004405.html
26	2024.10.24	「まへのふれあいこども食堂」プロジェクト今年度も活動しています！ https://www.shukutoku.ac.jp/news/nid00004442.html
27	2024.10.28	淑徳大学履修証明プログラム 「パネルシアターおたのしみ上演

		会」を開催します https://www.shukutoku.ac.jp/event/nid00004465.html
28	2024.11.29	「第9回防災推進国民大会（ぼうさいこくたい 2024）in 熊本」に参加しました https://www.shukutoku.ac.jp/news/nid00004588.html
29	2024.12.06	能登豪雨における災害支援金に対する募金のお礼とご報告 https://www.shukutoku.ac.jp/news/nid00004610.html
30	2024.12.11	2024 年度能登半島地震復興支援 珠洲市復興支援プロジェクト（2025・冬）参加者募集のご案内 https://www.shukutoku.ac.jp/news/nid00004636.html
31	2024.12.24	「新鎌イルミネーション点灯式&ウィンターマーケット」に参加しました！ https://www.shukutoku.ac.jp/news/nid00004690.html
32	2025.01.10	【淑徳大学特別公開講座】新田恵利先生と大学生が語る！ 介護について考えよう！ https://www.shukutoku.ac.jp/news/nid00004715.html
33	2025.01.31	千葉ジェッツ応援プロジェクト フードドライブブースのボランティア活動に参加しました！ https://www.shukutoku.ac.jp/news/nid00004786.html
34	2025.02.14	1 day 地域共生活動体験！けやきの公園「餅つき体験大会」に運営ボランティアとして参加しました https://www.shukutoku.ac.jp/news/nid00004815.html
35	2025.02.25	2025 年度 淑徳大学履修証明プログラム「パネルシアター実践講座」の受講者募集を開始しました！ https://www.shukutoku.ac.jp/news/nid00004837.html
36	2025.02.28	総合福祉学部社会福祉学科・地域共生センター共催特別公開講座を実施しました https://www.shukutoku.ac.jp/news/nid00004847.html
37	2025.03.04	2024 年度「地域共生活動報告会」開催のご案内 https://www.shukutoku.ac.jp/news/nid00004861.html
38	2025.03.18	淑徳大学地域共生センター主催 東日本大震災復興支援プログラム第13回パネルシアターキャラバンを実施しました https://www.shukutoku.ac.jp/news/nid00004890.html
39	2025.03.31	能登半島地震「珠洲市復興支援プロジェクト（2025・冬）」を実施しました https://www.shukutoku.ac.jp/news/nid00004944.html

(6) 各キャンパスで取り組む地域共生活動の支援に関する事項

①千葉拠点

● 地域共生センター説明会

地域共生センターで実施するプログラムやセンターについて、学生を対象とした説明会を期間中、昼休み等を活用して実施した。参加者へは後日、スタディツアー・ともいき体験はじめの一步企画・災害支援プログラム等のセンター事業の案内を送付した。

参加者：6名

実施日：4/26（金）、5/7（火）

また、今年度は4月1日、2日に実施された新入生セミナーの「学生団体説明会」においても地域共生センターの紹介を行った。紹介後、2日には学生70名・教員7名が来室した。

● 「ともいき体験はじめの一步企画」の実施（月1回程度）

地域活動に関心はある学生がまずは学内で地域活動の事例を知り、地域の人材と出会える機会をつくることを目的とし、昨年度に引き続き定期的に単発の講座・ワークショップ体験会を千葉キャンパス拠点（3号館別館アネックス1階）において実施している。内容や実施時間帯等は定期的に参加学生へ聞き取りをし、ニーズを踏まえて企画を行っているが、昨年引き続き学部・学科・学年により自由時間がバラバラであるため、幅広く学生が参加できる時間帯の把握が課題となっている。オンライン・オンデマンド配信の併用等を含め実施形態を多様化させることで、参加ハードルを下げながらも多様な地域活動を知れる場として継続的に実施していく。

日程	内容	参加者数
4/11（木）	地域共生センターオープン Day	学生：2名 教員：4名
4/15（月）	地域共生センターオープン Day	学生：7名
4/22（月）	地域共生センターオープン Day	学生：10名
4/25（木）	地域共生センターオープン Day	学生：15名
5/7（火）	「リフかる（リフレーミングかるた）体験会」 （講師：任意団体 街のコーチング屋さん）	学生：5名
5/23（木）	地域共生センターオープン Day ※学生主体で実施	学生：12名
5/27（月）	地域共生センターオープン Day ※学生主体で実施	学生：15名
6/20（木）	地域共生センターオープン Day	学生：11名

	※学生主体で実施	
6/26 (水)	場づくりのツールとしても役に立つ！ コーヒーハンドドリップ体験会 (講師：「箱コーヒー」 駒沢 里美 氏)	学生：13 名
7/24 (水)	地域共生センターオープン Day ※学生主体で実施	学生：30 名
7/30 (火)	夏休み直前！ボランティア活動のみつけかた ※オンライン開催 (講師：認定 NPO 法人サービスグラント 上原一紀氏、NPO 法人コハレ LABO)	学生：8 名
10/9 (水)	地域共生センターオープン Day ※学生主体で実施	学生：23 名
11/5 (火)	地域活動に役立つ！バルーンアート体験会	学生：5 名
12/4 (水)	地域共生センターオープン Day ※学生主体で実施	学生：16 名
1/27 (月)	地域共生センターオープン Day ※学生主体で実施	学生：15 名

(参加学生の感想)

- ・カードの顔をあわせて、ゲーム参加者全員が輪になって盛り上がる。答えはひとつではなくて、他のものを出しても間違いではないというところが良かった。(5月)
- ・ルールも簡単で、老若男女問わず楽しめるゲームでした。相手が「普段こんな言い換えをしているんだ、こんな言い換えが得意なんだ」と普段の会話だけでは知る事が難しい。このようなゲームを通して新たな一面を知ることができたのは嬉しかったです (5月)
- ・コーヒーは勉強の眠気覚ましとしてよく飲むけど、自分で豆を挽くところからは淹れたことがなかったので新鮮だった (6月)
- ・ボランティア活動の受け入れ団体の声も聴けて安心して参加できそうだと感じた (7月)
- ・キャンパス内に部屋があることは知っていたが、入るきっかけがなかったところ、ボランティア情報を知りたい時期にオープン Day が開催されていたので来るきっかけになった (12月)
- ・学内で「オープン Day や地域共生センターのことは気になるが、コーヒーが飲めない」とつぶやいている学生が居た。コーヒーだけでなく、地域に絡めたお茶なども活用して、より広い学生にアプローチできないか(1月・意見を反映して実施)

【地域共生センターオープン Day について】

地域共生センターのいっそうの周知と利用促進を図るため、「はじめの一步企画」の一環として、前年度 12 月に 2 回実施した「地域共生センターオープン Day」を 4 月より毎月開催している。前期は地域活動の現場でも活用される「コーヒー」をテーマとし、ハンドドリップの体験会や参加学生同士の交流の場・地域活動の情報提供の場づくりに取り組んでいる。

体験会を通して、中心的に会を運営できる学生が出てきたことから、8 月の「夏のお楽しみ会」でのコーヒーブース出展を学生主体で実施した。実施に当たっては、「ハンドドリップについて、自分で本を読んだの自学だけでなく、実際にコーヒーを地域で活用している方から体験的に学びたい」という提案があったことから 6 月の「はじめの一步企画」の講座も連動させ、学生の地域活動の側面支援に努めた。

10 月の龍澤祭においてもチャリティコーヒーブースを学生たちが出展し、売上金額は全額、能登半島地震における義援金として実施学生が寄付を行った（寄付先：日本赤十字社「令和 6 年能登半島地震災害義援金」）。

● 千葉ジェッツ応援プロジェクト

本学がオフィシャルパートナーとして応援しているプロバスケットボールクラブ「千葉ジェッツ」におけるボランティア活動の一環として、2024 年 11 月 30 日（土）～12 月 1 日（日）の 2 日間、ホームゲーム会場（ららアリーナ TOKYO-BAY）において NPO 法人フードバンクふなばしの「フードドライブ（食品回収）」ブースに学生 5 名（社会福祉学科 1 名、教育福祉学科 2 名、看護学科 1 名、経営学科 1 名）と職員 2 名が参加した。



● 地域共生活動に関する情報提供

地域の NPO 等団体からの情報発信依頼を受け、公式 LINE アカウントや S-navi 等において、学生向けのボランティア・地域活動の情報を不定期に発信している。また、今年度は学生や教員から学外で参加しているボランティア・地域共生活動について情報発信の相談があり、地域共生センターへ訪れる学生の興味関心に応じて情報提供の協力を行った。

- 学内講義等への地域活動事例の紹介
コミュニティ政策学科「ボランティア・市民活動論 B」において、コーディネーターが地域活動の事例（ボランティア活動参加時の心構え含む）紹介と地域共生センターの取り組みについても紹介を行った。
- 学外講座等、地域での共生センター事例紹介
 - ・鎌ケ谷市で実施されている地域人材の育成のための連続講座「地域づくりコーディネーター養成講座」において、前年度実施した「入ると自然と防災に興味がわく教室を小学校に作ろう！～鎌ケ谷市立南部小学校の教室を利用した防災展示教室～」プロジェクトおよび地域共生センターの取り組み紹介をコーディネーターが行った。
 - ・千葉県内の社会教育士が集まる任意団体「千葉社会教育士会」のキックオフミーティングにおいて、県内の社会教育の取り組み事例として、同じく「入ると自然と防災に興味がわく教室を小学校に作ろう！～鎌ケ谷市立南部小学校の教室を利用した防災展示教室～」プロジェクトおよび地域共生センターの取り組み紹介をコーディネーターが行った。
 - ・千葉県県民生活課が実施した「第 2 回ボランティア体験交流プログラム（運営：千葉県地域ボランティア事務局）」において、自分に合ったボランティアを見つけるための自分の関心や強みなどを整理する「自己分析ワーク」をコーディネーターが行ったほか、地域共生センターの紹介ブースの出展を行った。

②東京拠点

- 地域の居場所「まえのふれあいこども食堂」プロジェクト
地域団体と連携して昨年度から展開している本プロジェクトについて、今年度も新メンバーを加えて実施している。本プロジェクトでは、事前・事後学習など学習と連動した体験活動を年間を通じて継続的に展開している。
活動テーマ・目標：多世代による「食・学・遊」の居場所づくりを通して豊かなコミュニティを形成する

活動概要：まへのふれあいこども食堂は、東京キャンパスの近くにある板橋区立前野ホールにて、前野町住民による地域団体「ふれあいまへのっ子の会」と淑徳大学の学生が協力して月1回程度のペースで開催している。

「食べる・学ぶ・遊ぶ」の3つのコンセプトによる誰もが来やすい地域の居場所を目指し、スタッフの学生たちは、①食べる部屋、②学ぶ部屋・静かに遊ぶ部屋、③遊ぶ部屋の3つの部屋のうち、どの部屋の担当になるかを決めて役割分担し、企画や準備を行っている。

活動場所：板橋区前野ホール（前野地域センター分室）

活動期間：1年間（2024年6月～2025年3月まで） ※希望者は次年度以降も継続

活動日時：月1回程度 16時30分～21時00分

こども食堂の開催時間は18時00分～20時00分

こども食堂の主催団体：ふれあいまへのっ子の会（前野町の住民による組織）

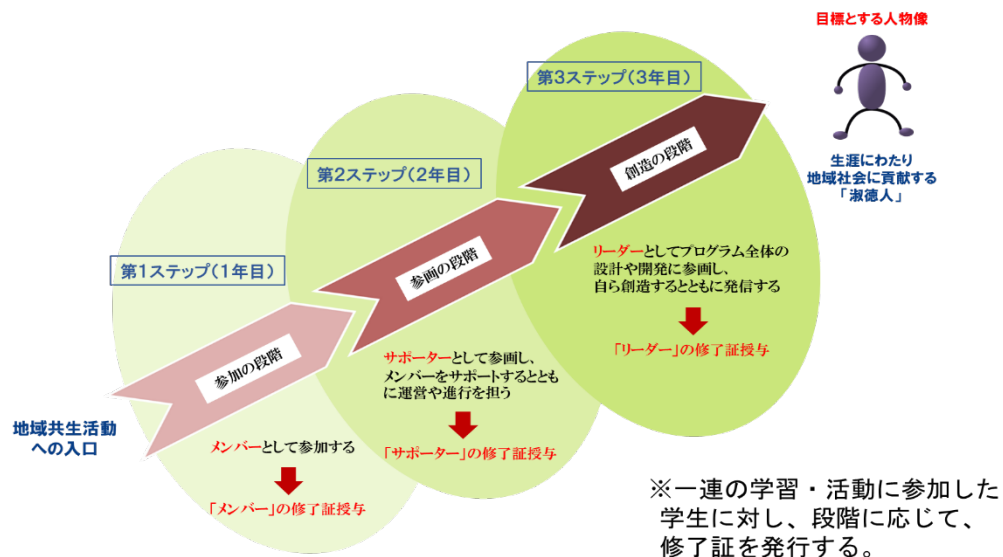
※地域共生センターとの間で「ともいき体験プログラムに関する確認書」を取り交わした。

募集期間：5/16（木）～5/27（月）

説明会：3回実施 5/21（火）、5/24（金）、5/27（月）12：20～12：45

登録学生：合計17名

1年目の学生【メンバー】 11名	・ 人文学部 歴史学科 2年生（1名）、1年生（2名） ・ 人文学部 表現学科 1年生（2名） ・ 人文学部 人間科学科 2年生（2名）、1年生（4名）
2年目の学生【サポーター】 6名	・ 経営学部 観光経営学科 2年生（1名） ・ 人文学部 表現学科 4年生（1名）、2年生（1名） ・ 人文学部 人間科学科 2年生（3名）



実施概要：

項目	日時	場所	内容	講師・参加者
事前学習Ⅰ	6/1 (土) 13:00- 14:30	東京キャンパス 2号館 2階 201教室	・アイスブレイクと自己紹介 ・ワーク1：活動の動機 ・ワーク2：活動がもたらすもの ・活動にあたっての心構え	講師：鈴木敏彦 センター長 学生：9名 (2名の欠席者には後日フォロー) 加えて、サポーター2名が進行補助
事前学習Ⅱ	6/1 (土) 14:45- 17:00	東京キャンパス 2号館 2階 201教室	・こども食堂について ・前野地域について ・こども食堂開設に至った思い ・安全衛生について ・目標宣言	講師：板橋区社会福祉協議会、 ふれあいまえのっ子の会 学生：9名 (上記と同様) 加えて、サポーター2名が進行

				補助
第 1 回活動	6/21 (金) 16:30- 21:00	前野ホール	メニュー：カレー、ブロッコリーサラダ、フルーツポンチ	学生：12 名 ふれあいまえの っ子の会：8 名 親子：41 名
第 2 回活動	7/24 (水) 16:30- 21:00	前野ホール	メニュー：チリコンカン、フルーツポンチ 学生企画：短冊風のしおり づくり	学生：9 名 ふれあいまえの っ子の会：8 名 親子：33 名
第 3 回活動	8/21 (水) 16:30- 21:00	前野ホール	メニュー：具だくさんシチュー、白身魚のフライ 学生企画：紙皿竹とんぼづくり	学生：6 名 ふれあいまえの っ子の会：8 名 親子：29 名
第 4 回活動	9/18 (水) 16:30- 21:00	前野ホール	メニュー：ガバオライス、エビフライ、唐揚げ、バナナ 学生企画：紙コップタワー づくり	学生：14 名 ふれあいまえの っ子の会：8 名 親子：38 名
第 5 回活動	10/15 (火) 16:30- 21:15	前野ホール	メニュー：麻婆豆腐、ひじきと水菜のサラダ、ようかん とフルーツのゼリー 学生企画：ハロウィン企画	学生：11 名 ふれあいまえの っ子の会：8 名 親子：40 名
第 6 回活動	11/19 (火) 16:30- 21:15	前野ホール	メニュー：カレー、フルーツ サラダ 学生企画：紙コップで飛ぶ おもちゃ	学生：8 名 ふれあいまえの っ子の会：8 名 親子：40 名
第 7 回活動	12/16 (月) 16:30- 21:15	前野ホール	メニュー：クリームシチュー & パンナコッタ 学生企画：クリスマスカード づくり	学生：9 名 ふれあいまえの っ子の会：8 名 親子：40 名
第 8 回活動	1/27 (月) 16:30- 21:15	前野ホール	メニュー：牛肉のハヤシ ライス、フルーツヨーグルト 学生企画：鬼のお面づくり、 トントン相撲	学生：11 名 ふれあいまえの っ子の会：8 名 親子：40 名
第 9 回活動	2/25 (火) 16:30-	前野ホール	メニュー：カレー、パンナコ ッタ	学生：12 名 ふれあいまえの

	21:15		学生企画：折り紙めんこ	っ子の会：8名 親子：40名
事後学習	2/26（水） 10:00- 12:30	東京キャンパス 4号館4階 フリースペース	・ココロ（キモチ）の振り返り ・アタマの振り返り ・目標に対する振り返り（自己評価） ・修了証書、活動証明書の授与	講師：鈴木敏彦 センター長 ふれあいまえのっ子の会：3名 学生：5名 （5名の欠席者には後日フォロー） 加えて、サポーター3名が進行補助

参加学生の感想：

- ・「美味しい！」と言ってもらえて嬉しかった。
- ・自分たちが企画した遊びを子どもたちが喜んでくれて、絵をプレゼントしてくれたことが嬉しかった。
- ・自分たちは普段“学生”と言われたり見られることが多いが、子どもたちから“オトナ”と言われたり見られたりして“オトナ”であることを自覚した。
- ・保護者の方から悩み相談を受けた。保護者の方から「習い事ではない地域の場として安心して預けられる」と言われたことが嬉しかった。
- ・子どもたち同士の行動がじゃれ合いなのか、ケンカなのか見極めが難しい場面があり、どう関わるのがよいのか難しい。
- ・自分の住んでいる地域以外での活動は、なじみがないため、もっと「外の人」感があると思っていたが、活動をしていく中で、とても温かくメンバーとして受け入れてもらえた。
- ・最初は緊張していたが、先輩や地域の人たちが優しくてアットホームで安心した。話に聞いていたことと実際に体験するとでは、得られるものも違うし、より活動の実態が見えた。
- ・ボランティアは、してあげることより、してもらうこと、受けとること、学ぶことのほうが多いと気付いた。
- ・ボランティアは助け合いだけでなく、社会に生きる一人として行動することだと、身をもって理解できる活動だと思った。



● 地域からのボランティア依頼への対応

地域からのボランティア依頼に対して、地域共生センターがコーディネートし、マッチングしたもの（把握しているもの）のみ掲載（3月27日時点）

No.	活動日	依頼団体	活動内容	活動場所	参加者
1	5/5（日）	グループけやき	けやきの公園「こいのぼり大会」の運営サポート （子どもたちのこいのぼりづくりのサポート）	けやきの公園（前野町1丁目）	学生：17名 （経営学科2年2名、観光経営学科2年2名、歴史学科2年5名、表現学科2年1名、人間科学科2年6名、人間科学科1年1名） ※申し込みは19名だったが、当日2名欠席 職員：1名
2	2024年6月から 2025年3月末まで	板橋区教育委員会 教育支援センター	板橋区立幼稚園・小学校・中学校・板橋フレンドセンターにおいて、授業	板橋区立幼稚園・小学校・中学校・板橋フレンド	登録学生：8名 （歴史学科1年5名、人間科学科2年2名、人間科学

			支援・学校行事支援・土曜授業の支援・部活動支援・不登校児童生徒の支援・放課後学習の支援・保健室業務の支援	ドセンター (適応指導教室)	科1年1名)
3	7/7 (日)	グループけやき	けやきの公園「七夕まつり」の運営サポート (子どもたちの笹飾りづくりのサポート)	けやきの公園(前野町1丁目)	学生:3名 (歴史学科1年2名、表現学科2年1名) 職員:1名
4	8/24 (土)	高島平福祉園	利用者や地域の人 が訪れる「納涼祭」 の運営サポート ・障がいのある方 に付き添って一緒 にお祭りを見学	高島平福祉園 ※納涼祭会場は高島平九丁目第二公園	学生:1名 (人間科学科1年)
5	8/25 (日)	介護老人保健施設プリムローズ	利用者や地域の人 が訪れる「夏祭り」 の運営サポート ・ヨーヨーや射的、 輪投げ、飲食コー ナーなどの出店 のお手伝い ・利用者と一緒 にお祭りめぐり	介護老人保健施設プリムローズ (前野町3丁目)	学生:4名 (経営学科2年1名、表現学科2年1名、人間科学科1年2名)
6	土、日、祝日に実施。都合の良い日程に参加	こども昆虫観察会	子どもたちが昆虫や魚、水の生き物探しなどを行う「こども昆虫観察会」のサポート。安全見守りや誘導など	東京都内や埼玉県 の公園、原っぱ、 川など	学生:4名 (人間科学科2年1名、人間科学科1年1名、地域創生学部1年2名)
7	10/6 (日)	公益財団法人	第49回板橋区・高	都営三田線	HEART サーク

		板橋区スポーツ協会	島平ハーフマラソンの運営サポート 走路員（走路の誘導）、給水係、プラカードによる案内係等	西台駅から西高島平駅近くに及ぶ一周 5km の公認周回コース	ルが対応
8	11/16 (土)	文京区立本郷福祉センター 若駒の里	「ほんわか祭り」の運営サポート (ゲームコーナーや作品販売等のコーナーの運営サポート)	文京区立本郷福祉センター 若駒の里	学生：1 名 (表現学科 2 年)
9	1/12 (日)	グループけやき	けやきの公園「餅つき体験大会」の運営サポート ・会場準備、片付け ・ついた餅の加工（パック詰め） ・受付対応など	けやきの公園（前野町 1 丁目）	学生：6 名 (歴史学科 1 年 1 名、表現学科 2 年 1 名、表現学科 1 年 2 名、人間科学科 1 年 2 名) 職員：1 名
10	3/14 (金)	板橋区社会福祉協議会	「福祉の森サロン交流フェスタ ♪」の運営サポート	板橋区立グリーンホール	学生：1 名 (表現学科 2 年)
11	3/16 (日)	板橋区 (区民文化部 スポーツ振興課)	2025 板橋 City マラソンの運営サポート (ホットドリンクコーナーを担当)	板橋区荒川河川敷内特設会場 (国道 17 号線戸田橋上流)	学生：7 名 (表現学科 3 年 1 名、人間科学科 2 年 1 名、地域創生学部 2 年 5 名) ※申し込みは 9 名だったが、当日 2 名欠席 職員：1 名

● 1 day 地域共生活動体験

上記の地域から依頼のあった多様な分野の活動の中から地域共生センターがピックアップし、地域共生活動が初めての人や一人で参加することが不安な人でも参加しやすいよう「1 day 地域共生活動体験」の機会を設定した。申込受付を大学が取りま

とめて、コーディネーター（職員）も同行し、同じ淑徳生と一緒に「淑徳チーム」として活動することで、一步を踏み出すサポートを行った。

設定日：5/5（日）けやきの公園「こいのぼり大会」

7/7（日）けやきの公園「七夕まつり」

1/12（日）けやきの公園「餅つき体験大会」

3/16（日）2025 板橋 City マラソン

参加学生の感想：

- ・ 子どもたちとコミュニケーションをとりながら一緒にこいのぼりをつくり、完成したこいのぼりを笑顔で見せながら、ありがとうと言ってきて、達成感を感じた。
- ・ 子どもと接するボランティアは初めてだったが、先輩や地域の方々のフォローが嬉しかった。
- ・ 最初は子どもたちが笑ってくれなくて戸惑ったが、上から話しかけていたらだと気づいた。目線を合わせて話すと笑顔で話してくれて、子どもと接するときは目線を合わせたり、挨拶をすることが大切なのだと学んだ。
- ・ 予想以上に多くの人に参加していて、この公園や地域は愛されているなあ、地域の力はすごいなあと思った。
- ・ 趣味でマラソンをやっていて、大会にも何度か出場したことがある。その際にボランティアの方に支えてもらうことがたくさんあった。今回はサポート側としてランナーの方たちが楽しく安心して参加できるようにできたらと思って活動した。貢献できて良かった。
- ・ 初めてのボランティアで緊張していたが、周りの人がサポートしてくれたり、「ありがとう」と言ってもらえたのが嬉しくて、楽しかったので、またやりたい。





● 2024 年度「地域共生活動報告会」

2024 年度の地域共生センター（東京キャンパス）での取組の総括的な位置づけとして、「地域共生活動報告会」を開催した。

東京キャンパスにおいて、センター主催のボランティアプログラムに参加した学生や、センターが仲介して地域からの依頼にご協力いただいた学生、センターが活動先をコーディネートし、継続的に活動している学生が、この1年間のそれぞれの活動成果を発表した。

また、今年度は、ゲストとして、千葉キャンパスの地域共生センターのプロジェクトで活動した学生にもオンラインで活動報告をしてもらった。学生の発表の後には質疑応答を行い、参加者との活発なディスカッションが行われた。また、協力団体や活動先団体の方からもコメントをいただくことで、多角的な視点から活動を振り返る機会となった。

地域共生センターの今年度の取組についても紹介した。

日時：2025 年 3 月 12 日（水）10：00～12：30

場所：6 号館 2 階 201 教室

発表団体：①地域の居場所「まへのふれあいこども食堂」プロジェクト（1 年目メンバー）

②地域の居場所「まへのふれあいこども食堂」プロジェクト（2 年目サポーター）

③けやきの公園での活動「こいのぼり大会」「七夕まつり」「餅つき体験大会」

④フリースクール「ビリーバーズ板橋」での活動

⑤こどもたちが主役になれる！新鎌ヶ谷駅前のイルミネーション点灯式&ウィンターマーケットを一緒に作ろうプロジェクト

参加者：54 名（内訳：学生 14 名、教員 10 名、職員 12 名、地域の方 18 名）



(7) その他必要な事項

①グッズ制作について

・オリジナルタオル

パネルシアターキャラバンにおいて、パネルシアターの上演だけではなく、幼児から大人まで一緒になって楽しめる「タオルあそび」で活用するため、地域共生センターオリジナルタオルを制作した。能登半島地震復興支援での現地訪問の際には、支援の一つの形として、タオルあそびで使ったタオルを各訪問先へ贈呈した。



・ビブス

地域共生活動を行う際に使用するビブスを制作した。能登半島地震 珠洲市復興支援プロジェクト（2024・夏）で使用し、所属団体や役割を明らかにするとともに、本学学生・教職員の一体感を醸成するための一助となった。



5. 2025 年度へ向けて

・ともいきリーダー認定制度について

令和6年度より「ともいきリーダー」認定がスタートした。学内での周知活動が遅れたため、学内、特に学生の認知が広がらず、スタート年度は「ともいきリーダー」認定は12名となった。次年度からは、年2回申請できる機会を設ける予定である。

建学の精神「利他共生」や本学の伝統に触れながらボランティア・地域活動をはじめとした様々な体験活動に参加し、学生自ら目的意識を持ち、地域共生活動を通して、自分で感じ、考えることを実践する活動を広げていきたい。

- ・履修証明プログラム次年度以降の検討

更なるプログラムの充実に向け、令和7年度より、これまでの指導者養成（基礎）コースに指導者養成（実践）コースを加え、2つのコースを開講する。基礎コースで学んだ基本的な知識と技術を活かし、個々の専門分野を反映させた研修会を企画・立案することで、パネルシアターに対する理解を深め、広く発信していく力を身につけることを目指すプログラムである。継続的に学びに触れ、パネルシアターを通して受講生同士で交流できる機会を創出することも狙っている。淑徳発祥のパネルシアターの教育現場や地域社会での普及に貢献していきたい。

- ・学生の活動推進のための側面支援の継続

災害復興支援活動や各拠点プログラムの参加を通して、継続的に共生センターで展開する地域共生活動に参画する学生も昨年以上に増えつつあり、学生同士のコミュニティも醸成されつつある。特に千葉拠点では併室されている学修支援室の利用学生も地域共生活動に参画する例や、定期的に拠点を利用している学生の口コミで新たな利用学生の増加にもつながっている。日常的な拠点運営・活動の中で学生とも対話を重ね、「地域共生センターでは安心して地域活動に参加できる」という信頼関係を築くことを目指し、センター主導だけでなく、学生が自らの意思で新たな地域共生活動を主体的に起こしていけるような環境整備・側面支援を推進していく。

- ・学生コーディネーターの導入

同じ学生の立場から、地域共生活動の啓発と支援を行っていく学生コーディネーターを2025年度より東京拠点から先行して募集する予定である。学生コーディネーターには、他の淑徳生が地域共生活動に取り組みやすくするためのサポートをしてもらう。地域共生活動を紹介したり、魅力を伝えたり、地域共生活動に参加するためのきっかけづくりなど、コーディネーター（職員）とともに淑徳大学の地域共生活動の機運を高める役割を担う。地域共生活動を体験した学生が次のステップとして学生コーディネーターとなり、自身の経験を伝え、広げていく役割を担うことで、さらなる循環が生まれることが期待される。

参考資料

- ・淑徳大学地域共生センター規程
- ・淑徳大学地域共生センター運営委員会規程
- ・2024年度 淑徳大学 地域共生センター員、淑徳大学 地域共生センター運営委員名簿
- ・各学部学科・キャンパスにおける正課外の体験活動等の取り組み一覧

各種広報物等

こども食堂プロジェクト 2024年度メンバー募集

募集期間: 5月16日(木)～5月27日(月)
事前学習: 6月1日(土) 13:00～17:00

淑徳大学独自の「ともいき体験プログラム」を実施します。淑徳大学でしかできない体験活動に参加してみませんか?

ボランティア活動 地域活動を やってみたい!
出会いや 視野を 広げたい!
学びを深め 自分を 成長させたい!

地域の居場所「まえのふれあいこども食堂」プロジェクト

【活動テーマ・目標】
多世代による「食・学・遊」の連携づくりを通して豊かなコミュニティを形成する
【活動概要】
地域の子どもたちが集える拠点(サード・プレイス)としての「まえのふれあいこども食堂」での活動
①夕食づくりとみんなで美味しく食事を食べる増づくり
②学校の宿題の指導や学習支援、相談相手
③遊びのサポートとイベント等の企画・運営
【活動場所】
前野ホール(前野地域センター分室) ※東京キャンパス4・5・6号館隣
【活動期間】
1年(2024年6月～2025年3月まで) ※希望者は2年目以降も継続することができます。
【活動日時】
月1回程度 平日夜間(※初回の活動日は5月21日(金))
開会: 16:30～21:00(予定) 開会・片付け・振り返り含む
※こども食堂の閉会時間は18:00～20:00
【活動から学ぶ】
交通費の実給はありません
・ボランティア経験料として350円を大学が支給(350円の上限に350円を超えた場合は自己負担あり)
こども食堂での食事代は無料
※このプロジェクトは、「まえのふれあいこども食堂」を主催する「ふれあいまえのつ子の会」(東京キャンパスが立地する前野町の住民により組織)に協力していただいています。

説明会日程
第1回: 5月21日(火) ※開会あり(いずれも12時20分～12時45分、4号館4Fフリースペースにて開催いたします。お昼ご飯を食べながらOK!)
第2回: 5月24日(金)
第3回: 5月27日(月) 日程が合わない場合、地域共生センターで開会いたします。

プログラムの流れ

STEP 01 参加学生募集
【募集締切】5月27日(月)
【募集人数】10人程度

STEP 02 事前学習 I
【日時】6月1日(土) 13:00～14:30
【内容】
①地域共生活動とは何か
②自身の興味とプログラムで扱う社会課題をつなぐ
③活動に参加するにあたっての心構え

STEP 03 事前学習 II
【日時】6月1日(土) 14:45～17:00
【内容】
①地域共生テーマ・社会課題の概要
②活動に必要な知識・技術の習得
③目標設定

STEP 04 ともいき体験活動
【日程】6月～2月(月1回程度 平日夜間)
※初回は6月21日(金)
【内容】
「まえのふれあいこども食堂」の運営メンバーの指導による自主活動の体験

STEP 05 事後学習
【日時】2月(予定)
【内容】
自身の思いや活動の成果・意義を多角的に振り返る

STEP 06 成果の発信
【日程】3月(予定)
【内容】
活動報告会での活動発表
「学び」の振り返り
一歩の学習・活動に参加した学生に対し、必ず証を贈り、表彰する。2年目以降も同様可。

ともいき体験プログラムとは
建学の精神である「利他共生＝他者に生きられ、他者を生きし、共に生きる」の行動化として、体験活動を通して社会課題の解決に向けて取り組むことで、他者との親和性の中から自己理解を深め、生涯にわたり地域社会に貢献する「貢献者」の生き方と共生社会の実現を目指すことを目的としています。このプログラムでは、事前・事後学習と学習と連動した体験活動を継続的に展開します。

参加・修了のための必須要件
①事前・事後学習への参加は必須
ただし、やむを得ない理由で参加できない場合は、後日、別経路で代替する
②期間中、2回以上の活動を行う

こども食堂を主催する「ふれあいまえのつ子の会」からのメッセージ
教室では体験できないプレイスレスな時間を過ごしませんか?現代日本が失いつつある大切な空間をみんなで創出しましょう。一緒に活動できることを楽しみにしています!

申込方法・締切
【申込方法】下の申込フォームに必要事項を入力し、送信してください。(1週間経過後もセンターからの返信メールが来ない場合は、ご連絡ください)
●申込フォーム
<https://forms.gle/PuRogKXq5uLPMHz7>
右記QRコードからもアクセスいただけます
【締切】2024年5月27日(月)

お問い合わせ: 淑徳大学地域共生センター(東京キャンパス 9号館1階)
【電話】03-5918-8367(直通) 【お問い合わせページはこちら】
【開室時間】平日8時45分～16時45分 <https://www.shokutoku.ac.jp/form/form060.html#/>

大学生「あるある」を題材に、困難な状況を「リフレーミング(ポジティブな状況に捉えなおす考え方)」して解決しよう!

新学期が始まって1か月。大学生生活の「あるある」をおしゃべりしながら、様々な場で役立つコミュニケーションスキルを体験してみませんか?

大学生生活の「困った!」をいかに解決!
課外活動が見つからない...
まだ知らないことがある...
自分次第で状況は変わる

入退室自由 「リッかる」体験会 (リフレーミングから)

5.7 火 13:00～14:30 (3限)
場所: ラーニングcommons
参加申し込みはこちらから →

ゲスト: 街のコーチング屋さん
「コーチングのある暮らしが、当たり前の世の中に」をビジョンに掲げ、気軽にコーチングと触れ合う事を目標に活動している任意団体。松戸市を拠点に活動しており、今回体験できる「リッかる～キャンパスライフ編～」は大学生も制作に関わったカードゲームです。
「ゲームマーケット」にも出展し、活動を広めています。

Enjoy meet up!!

プログラム説明会 5.7

12:15-12:50 詳細をミッパ>>

淑徳大学 公開講座

総合福祉研究科 × 地域共生センター 公開講座

地域共生社会づくり ～移動支援の視点から考える～

淑徳大学では、利他共生の精神を礎とし、学士としての基本能力を備え、様々な分野で活躍する共生実践人材の育成に努めています。同時に大学の教育や研究を広く提供する目的で、生涯学習の一環として、知的資源を地域社会へと開放する公開講座を開催しています。

この度、元厚生労働省事務次官 蒲原基道先生をお招きし、地域包括ケア、地域共生社会づくりの「地域づくり」の重要性と地域づくりについて「移動支援」を例に、自分らしく暮らすための「移動」の重要性や、買い物などの暮らしの継続を支える移動支援の仕組みについてご講演いただきます。

日時 2024年 7月26日(金) 13:00-14:30
受付時間：12:30～

場所 淑徳大学 千葉キャンパス 淑水記念館2階 多目的室

講師紹介 淑徳大学 客員教授 元厚生労働省事務次官 蒲原 基道 先生

申込方法 下記URL又はQRコードよりお申込みください。
<https://forms.gle/xw91bRYtH5JNmW8A>

淑徳大学
総合福祉研究科 淑徳大学 地域共生センター

「52間の縁側」×地域共生センター 夏休みイベント企画

地域のことも高齢者も楽しめる 夏のイベントを一緒につくろう！

スタッフ募集!

プログラム説明会 7/2(火), 7/9(火)

時間: 昼休み
場所: 地域共生センター

※参加が難しい場合は個別に地域共生センターにお越しください
※説明会への当日飛び込み参加も可能です

★詳細はS-naviまたは地域共生センターのLINEをご確認ください
主催：淑徳大学地域共生センター（千葉キャンパス）

こんなブースを一緒に作りませんか？

- ・バレーアート
- ・竹を使ったコーナー
- ・流しそうめん
- ・すいが割り
- ・コーヒースタンド
- ・会場内装飾
- ・来場者（子ども・高齢者）のアテンド
- …その他のやりたいことの実現も歓迎！

イベント開催日 8/5(月) 8:30～17:00 予定

淑徳大学 ×52間の縁側のいしさん家 夏休み企画

夏のまたのしみ会

ばしょ：52間の縁側のいしさん家（千葉県八千代市米本1325の隣）
旧米本より徒歩1.3分
（Google mapは「52間の縁側のいしさん家」で検索してね！）

8/5(月) 11:00～15:00
お申し込み自由・先着100名
申し込みしてね！

当日は淑徳大学の家にいしさん・おかしさんやたのしい企画を用意しています！

流しそうめん

本物の竹を使った

参加費 そうめん代（子ども200円、大人300円）など食べ物代
※当日持ってきてね！食べ物以外のおもひはお金ばかりません

申込み なるべくQRコードよりお申込みをお願いします→

問合せ 52terakoya@gmail.com

【注意事項】
・駐車場はございません。徒歩・自転車でお越しください。送迎の第一停車場所やコインパーキングは申込み後にお知らせします。
・当日は混雑が予想されますので、ご来場の際にはご迷惑をお願いたします。

夏休み直前! 7/30(火)

20:00～21:00@オンライン(ZOOM)

ボランティア活動の みつけかた summer vacation

または後日視聴できるアーカイブ動画の配信も可能です
千葉キャンパス以外の方もご参加頂けます

・ボランティアってどうやって見つかるの？
・どんな人達が受入れてくれるの？
・参加するときに注意することは？

…等々、ボランティアに参加する時に
気になっちゃうアレコレを、実際に学生ボランティアの
受け入れをしている団体の方と
トークセッション形式で掘り下げていきます！

淑徳大学地域共生センターとは

地域での活動、体験を通して建学の精神である「利他共生」の行動化をいっそう推進するために創設されたセンターです。

淑徳大学の「共生(ともいき)」の伝統を基に取り組まれてきたボランティア活動や地域活動を推進していきます。

■場所：千葉キャンパス3号館アネックス別館1階（図書館コロ、ラーニングコモンズの下）
■開室時間：9:30～17:00

地域共生センター オープンDAY 8/24(水)

12:30～15:30
今月は特別版!!
学生有志メンバーが
アイスクリーム作りです

～コーヒーを飲み比べながら、地域のことも知れる日～

地域共生センター オープンDAY 申込不要

**7/24(水)
12:30～15:30**

今月は特別版!!
学生有志メンバーが
アイスコーヒーを作ります♪

もちろん、「自分で淹れてみたい!」
という方もお気軽に
お立ち寄りください!

●今後の情報発信予定●

- 7/30(火)20:00～21:00
「ボランティアのさかし方(仮)」講座
@オンライン/後日の動画視聴も可能
- 8月22日(木)※時間調整中
能登半島地震復興支援映画上映会
@千歳キャンパス内
S-naviや地域共生センターのLINEにて
順次情報発信予定です。ぜひご参加ください!
※内容は変更となる場合があります。

淑徳大学地域共生センターとは
地域での活動、体験を通して建学の精神
である「利他共生」の行動化をいっそう
推進するために創設されたセンターです。
淑徳大学の「共生(ともいき)」の伝統を
基に取り組まれてきたボランティア活動
や地域活動を推進していきます。

■場所:3号館アネックス別館1階
(図書館ココ、ラーニング commons の下)
■開室時間:9:30～17:00

**まえのふれあい
子ども
しょくどう**

**7/24(水)
18:00～20:00**
前野ホール
前野町2丁目43-15

「まえのふれあい子ども食堂」は、
地域有志の方や淑徳大学の学生
ボランティアの協力により運営されて
いる子ども食堂です。

参加対象・参加費用
【参加対象】・子ども(高校生まで)
・保護者(祖父母も含む)
【参加費用】子ども無料 大人300円

申込方法

注意事項

- ・食物アレルギー対応は
しておりません
- ・飲み物は各自お持ち
ください
- ・必ず期限内に
申し込みを行って
ください!

7/17(水)～7/19(金)、12:00～13:00の間に
しげのさん(元青森前野地区委員会会長)
090-4028-7928
または
ふじむらさん(ふれあいまえのつ子代表)
090-4831-4868
まで電話にて参加申し込みをしてください

ボードゲーム・本あるよ～(x~x)
宿題もOK!
わからないところはボランティアの人が
助けてくれるよ♡

主催 前野あいまえのつ子の会
協力 淑徳大学地域共生センター

**まえのふれあい
子ども食堂**

8.21(水)18:00～20:00
食べる!遊ぶ!学ぶ

場所 前野ホール
前野町2丁目43-15

参加対象・参加費用
【参加対象】・子ども(高校生まで)・保護者(祖父母も含む)
【参加費用】子ども無料 大人300円

注意事項

- ・食物アレルギー対応は
しておりません
- ・飲み物は各自お持ちください
- ・必ず期限内に申し込みを
行ってください!

申込方法

8/12(月)～8/14(水)、12:00～18:00の間に
しげのさん(元青森前野地区委員会会長)
090-4028-7928
または
ふじむらさん(ふれあいまえのつ子代表)
090-4831-4868
まで電話にて参加申し込みをしてください

みんなに
愛されて
一周年!

♡メニュー♡
おたのしみ

主催 前野あいまえのつ子の会
協力 淑徳大学地域共生センター

先着40名!

**まえのふれあい
子ども食堂**

9月18日(水)18:00～20:00
場所 前野ホール 前野町2丁目43-15

食べる!遊ぶ!学ぶ
(△▽)/(○△)(▽▽)

参加対象・参加費用
【参加対象】・子ども(高校生まで)
・保護者(祖父母も含む)
【参加費用】子ども無料 大人300円

注意事項

- ・食物アレルギー対応は
しておりません
- ・飲み物は各自お持ちください
- ・期限内に申し込みを
行ってください

申込方法

9/11(水)～9/13(金)12:00～18:00の間に
しげのさん(元青森前野地区委員会会長)
090-4028-7928
または
ふじむらさん(ふれあいまえのつ子の会代表)
090-4831-4868
まで電話にて参加申し込みをしてください

ボードゲーム・本あり♪
宿題もOK～!!
わからないところは
ボランティアの人が
助っ人として入ります♡

主催 前野あいまえのつ子の会
協力 淑徳大学地域共生センター

先着40名!

まえのふれあいこども食堂ニュースレター
ふれあいVision Vol.1
2024 9月号 担当：高洲






おたより、始めました！
みなさんこんにちは！この度、まえのふれあいこども食堂では、活動の報告・広報の一環としてニュースレターを発行することになりました！これから毎月活動の様子やボランティアの雰囲気などお伝えしていきます。このお便りを通して、ボランティアやこども食堂に興味を持ってもらえたら幸いです。

遊ぶ部屋	食べる部屋	学ぶ部屋
紙コップタワーを行いました！ 大学生と子供たちが一緒に紙コップにお絵かきしたり、作った紙コップを積み上げてあそびました 作った紙コップはお土産に！	今日の献立 ・ガバオライス ・エビフライ ・唐揚げ ・目玉焼き ・フルーツポンチ ・バナナ お野菜は山菊さん、エビフライ・唐揚げはまごころ食堂の高高さんからいただきました！ ありがとうございました！	宿題&恋バナ！？ 小学生たちは漢字ドリルや計算ドリルなど学校の宿題に熱心に取り組んでいました！ 一部大学生は恋バナで盛り上がったとの情報も！？

淑徳大学
あなたの"やってみよう！"をカタチにしよう
学生提案型 地域共生活動プログラム
コアメンバー募集

「学生提案型地域共生活動プログラム」について
学生の皆さんが、自分自身の「気になる」「なんとかしたい」と感じる地域課題や社会問題に対して議論し、その改善や解決につながるような場や活動を企画立案し、実施するプログラムです。今年度の実施にあたり、コアメンバーを募集します！
昨年度は応援の各団体を学食「すのけ」共に開催～前日未定～の予定です。

募集人数 5名程度※応募多数の場合は選考となる場合があります
募集対象 学生が参加できる地域共生活動のプログラムをつくり、実施することに興味のある方(経験は問いません)

応募方法
Googleフォームよりお申し込み下さい
<https://forms.gle/d467VHKQWLF53Gex9>
締め切り：2024年 12/13(金)

実行イメージ
2024年12月：コアメンバーの決定・キックオフミーティング
～定期ミーティングを通しての企画づくりの進行
2025年1月：実施内容の決定、広く金学生に対する参加者募集の実施
2月：実施に向けた直前準備
3月：企画の実施

主催・お問合せ 淑徳大学地域共生センター (tk-k-jimu@daijo.shukutoku.ac.jp)

主催：ふれあいまえのこどもの会
協力：淑徳大学地域共生センター

まえのふれあいこども食堂
12月16日(月曜日)
18:00～20:00
前野ホール 前野町2丁目43-5

参加費 無料
申込方法
予約方法
当日の献立
おたのしみ

まえのふれあいこども食堂は、坂東区立前野ホールにて、前野町民による地域団体「ふれあいまえのこどもの会」と淑徳大学の学生が協力して月1回開催のペースで開催しています。
「食べる・学ぶ・遊ぶ」の3つのコンセプトによる誰もが参加しやすい、地域の居場所を目指し、様々な企画を展開しています。

まえのふれあいこども食堂ニュースレター
ふれあいVision Vol.2 10月号
作成：淑徳大学地域共生センター
地域の居場所
「まえのふれあいこども食堂」
プロジェクト
担当：学生スタッフ 小野

まえのふれあいこども食堂は、坂東区立前野ホールにて、前野町民による地域団体「ふれあいまえのこどもの会」と淑徳大学の学生が協力して月1回開催のペースで開催しています。
「食べる・学ぶ・遊ぶ」の3つのコンセプトによる誰もが参加しやすい、地域の居場所を目指し、様々な企画を展開しています。

ハロウィン企画で盛り上がりました！
みなさん、こんにちは！9月より始めたニュースレター。今回で第2号となりました。作成は淑徳大学の学生スタッフが担当しています。
まえのふれあいこども食堂は今年で活動2年目ですが、まだまだ地域や大学内での知名度が低いことが課題です。そこで、どんなことをしているのかを具体的にお伝えしよう、この「ふれあいVision」を毎月発行することになりました。3つの部屋のそれぞれのリアルな活動の様子やボランティアの雰囲気、季節の遊びの企画など、写真も交えてお届けしていきます。
このお便りを通して、ボランティアやこども食堂に興味を持ってもらえたら幸いです。

遊ぶ部屋	食べる部屋	学ぶ部屋
10月はハロウィン！ 折り紙で箱を作り、子どもたちが「トリック・オア・トリート！」と言ってその箱で大学生に見せると、お菓子がもらえるという企画を実施しました！	今日の献立 ・麻婆豆腐 ・ひじきと水菜のサラダ ・ようかんとフルーツのゼリー お野菜は前野町6丁目の八百屋さん、山岡さんからご提供いただきました！ ありがとうございました！	折り紙とお絵かき 折り紙でかぼちゃのお団子を作ろうと用意していましたが、それほど人気はなく…小学生が大学生に他の折り方を教えてくれました！ お絵かきも上手！

淑徳大学
SHUOKU DAIGAKU

新田恵利先生と大学生が語る！

介護について考えよう！

2025年2月14日(金)
13:00 ~ 15:30 (開場12:30~)

新田恵利先生 (淑徳大学客員教授)



おニャン子クラブ(会員番号4番)で芸能界デビュー。
2014年秋から実母の介護が始まり、2021年3月に在宅での看取りを経験し、6年半の在宅介護生活(家族介護者)を終える。その経験を基に『悔いなし介護』(主婦の友)2021年9月にまとめて公開。2023年から淑徳大学総合福祉学部客員教授に就任。

【タイムスケジュール】

12:30~ 開場
13:00~ 特別講演(新田恵利先生)
テーマ:「実体験から語る介護の魅力、素晴らしさ」
新田先生よりご自身の経験に基づく介護の魅力について講演をいただきます。

(休憩)

14:15~ パネルディスカッション
コーディネーター:淑徳大学教授 結城康博
パネリスト:総合福祉学部 社会福祉学科3名
テーマ:「どうして介護職は人気がないの？」
結城教授がコーディネーターとなり、学生3名と切り込んだテーマでパネルディスカッションを行います。

【お申込み方法】
URLまたはQRコードよりお申し込みください。
<https://forms.gle/QsFUapdmEPf6C676>

参加無料

開催場所:淑徳大学千葉キャンパス(〒260-8701 千葉県千葉市中央区大蔵寺町200)
※蘇我駅東口の無料スクールバスをご利用ください。(自家用車のご来場はご遠慮ください。)
<https://www.shukutoku.ac.jp/access/chiba/>(スクールバス)

■主催 ■淑徳大学(社会福祉学科×地域共生センター)
淑徳大学 総合福祉学部社会福祉学科3年(五十音順)
石川直志、上山カミ、島田桃花、中村壽葉
お問合せ:tk-k-jimu@daijo.shukutoku.ac.jp(淑徳大学地域共生センター)

学生の皆さんへ

淑徳大学
ともいきリーダー

認定制度が始まります！

在学中に積極的に参加した、あなたのボランティア活動の知能・経験等を大学が認定します。
就職活動時の履歴書やエントリーシートに認定証を添付することで、学生時代に力を入れたことの一つとしてボランティア活動で身につけた力をアピールできます。

S-BASIC科目
「地域活動と社会貢献」単位修得

+

T-BASIC科目
「ともいき基礎知識講座」受講

※「地域活動と社会貢献」の授業に含まれます

ともいき体験活動の15時間以上の実績

ともいき体験活動(授業外でのボランティアや地域活動)に参加します。申請時の体験活動時間数によって、**給付金**に3段階の認定を付与します。

※活動時間数は、1年ごとの活動時間の累計で算定します。

申請に必要な条件

- ブルーバッジ**
15時間以上の活動で付与
- シルバーバッジ**
45時間以上の活動で付与
- ゴールドバッジ**
90時間以上の活動で付与

申請期間 **2025年2月1日(土)～28日(木)**
(2025年3月までの認定資料を予定)。
※令和7年度は2回の申請期間を設ける予定です。

Q&A

- 具体的に、どんな力を認定する制度ですか？
→「淑徳人等ともいきリーダー」としては、次のような力(知識・スキル)が身についたことを認定します。
「ボランティア活動」「社会貢献」「社会活動」「社会貢献の意識の醸成」「コミュニケーション能力」「リーダーシップ」など。
- 「ともいき体験活動」はどんな活動を指しますか？
→淑徳大学地域共生センター主催の取組支援プログラム、地域共生センターが主催または協賛する活動、各学部専攻科やキャンパスにおける正課外の体験活動、地元など地域で自主的に参加したボランティア活動など。
※該当する活動であるが不明な場合は、地域共生センターへお問い合わせください。

問い合わせ:淑徳大学地域共生センター kyousei@soc.shukutoku.ac.jp
●千葉キャンパス:3号館別館アネックス1階 ●東京キャンパス:1号館1階

淑徳大学地域共生センター主催

パネルシアター

キャラバン

活動報告会

2025 **3/7(金)** 東京キャンパス1号館 1階101教室
10:00-11:00 入退場自由

上中島こども園

1日目

典人会
高齢者福祉施設

2日目

一ノ関愛心幼稚園

3日目

ご不明点は地域共生センターまで

03-5918-8367

tk-k-jimu@daijo.shukutoku.ac.jp

Zoomで一部オンライン配信あり！

淑徳大学地域共生センター

入場無料

淑徳生のともいき体験！

2024年度 地域共生活動報告会

開催日 **2025年3月12日(水)**
時間 **10:00~12:30**
場所 **淑徳大学 東京キャンパス 6号館 2階201教室**

今年も、地域共生活動に取り組む関係者が集まり、それぞれの取り組みや思いを共有・発信する場として「活動報告会」を開催します。
1年間の活動の成果、課題を学年や地域の方々と共有する機会を設け、これまで、大学による地域共生活動の意義や効果、学びや多岐にわたる、互いに励み合い、新たな機会やつながりが生まれるきっかけになればと思います。

また、発表を通して、さまざまな活動のリアルな様子や能力を高めることができると、これから地域共生活動を始める方々へ、いそがしい中にもスキマの機会です。
本学の学生・教職員に加えて、地域の皆さん、ご来場ください。

発表団体・個人

①-④ 地元の関係者
「よさみち」のまちづくり委員会
「よさみち」のまちづくり委員会
「よさみち」のまちづくり委員会

⑤ Special Guest
地域共生センター職員の中村先生(地域共生担当)

⑥ 「よさみち」のまちづくり委員会
「よさみち」のまちづくり委員会
「よさみち」のまちづくり委員会

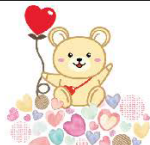
⑦ フリースクール「こども」のまちづくり委員会
「こども」のまちづくり委員会
「こども」のまちづくり委員会

【申込方法】webフォームまたは電話のいずれかで申し込みください。
▶ webフォーム: <https://forms.gle/8B2Dw1Ez1r3315647C>
▶ 電話: 03-5918-8367

申込締切日 **2025年3月11日(火)**

【申し込みはQRコードまたは127のリンク、お電話からでも受け付けます！】

建学の精神「利他共生」を行動化し、
「共生（ともいき）」の伝統を基に取り組んできた
ボランティア活動や地域活動をいっそう推進する



淑徳大学地域共生センター

地域の情報や
ボランティアの
情報がみつかると！

ボランティア活動等
に関する学生同士の
交流もできる！

ボランティア・
地域活動を始めたい時
に相談できる！



センターの取組



パネルシアターキャラバン
淑徳発祥であるパネルシアターを被災地の保育園や高齢者施設にて演じ、現地の方へ笑顔を届けています。

珠洲市復興支援プロジェクト
能登半島地震の復興支援活動として、石川県へ赴き、被災家屋の片付けや住民との交流等の活動を行っています。



学生提案型プログラム
学生自身が「学びたい」「考えたい」と感じる社会問題等について、その啓発や改善・解決につながるような活動を自分たちで企画・立案・実施しています。

1 day地域共生活動体験

ボランティア・地域共生活動が初めての方でも安心して取り組める1日体験活動を地域の団体と連携して実施しています。



ともいき体験 プログラム

東京拠点ver.

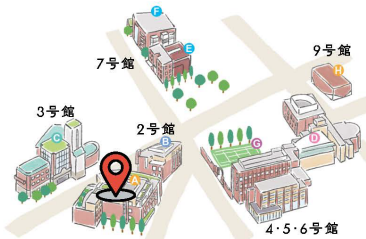
事前・事後学習など
学習と連動した体験活動を
継続的に展開します。

地域の居場所 「まへのふれあい子ども食堂」 プロジェクト

大学近くの地域センターにて月1回、淑徳生と地域の方が協力し合いこども食堂を運営しています。毎月の活動日には淑徳生が「食べる・学ぶ・遊ぶ」の3つのコンセプトをもとに企画・準備・運営に携わっています。



地域共生センター（東京）はココ！



1号館1階
守衛室向かい

大学内居場所づくり(仮称) プロジェクト NEW!

2025年度より開始する板橋区と連携した新プロジェクトです。年々増加傾向にある板橋区内の不登校児童・生徒に対して、淑徳生が学習支援や体験学習などの企画・準備・運営を行い、第3の居場所を提供します。



上記のプロジェクトについて、
5月に説明会を開催します！

地域共生センターでは、
あなたにぴったりの「知りたい」「やってみよう」
ボランティア・地域活動情報を
たくさんご紹介することができます。
センターには、専門職員（コーディネーター）
もいるので、さまざまな疑問や不安に寄り添い
ながらサポートします。
どんなことでもお気軽にご相談ください！
教室では体験できない
ストレスな時間を過ごしませんか？



淑徳大学地域共生センター ☎ 平日 9:00~16:30 ☎ 03-5918-8367 📧 tk-k-jimu@daijo.shukutoku.ac.jp